

2024年度
(令和6年度)

MUKOJO 未来教育総合型選抜
〈総合型選抜〉

学生募集要項

武庫川女子大学

目 次

◇ 武庫川学院の教育目標	(ページ) 1
◇ 受験に関する注意事項・連絡事項	2
◇ 入学試験要項	4
1. 趣旨	4
2. 制度	4
3. 出願資格	4
4. 募集学科〔専攻〕・人員・試験日	5
5. 出願手続(インターネット出願のみ)	5
(1) 出願期間・出願の流れ	
(2) 出願書類	
(3) 出願書類一覧表	
(4) 入学検定料	
◇ 日程のフローチャート	7
◇ 各学科の定める事項	8
英語グローバル学科〔英語文化専攻〕	
英語グローバル学科〔グローバル・コミュニケーション専攻〕	
教育学科	
社会福祉学科	
健康・スポーツ科学科	
スポーツマネジメント学科	
薬学科	
健康生命薬科学科	
経営学科	
6. Web 受験票について	19
7. 合格発表	20
8. 入学検定料の返還について	20
◇ インターネット出願方法について	21
9. 入学手続	24
10. 入学金および学費等納付金	25
11. 英語グローバル学科のアメリカ分校留学制度	27
12. アメリカ分校のための教育ローン制度	28
13. 褒賞・奨学金制度	29
14. 学寮	31
◇ 交通アクセス	33
令和6年度 アドミッション・ポリシー	

個人情報の取り扱いについて

武庫川女子大学では、本学志願時にいただいた個人情報については、Web 受験票配信、入学試験実施、合否結果発表および手続き書類の送付、入学手続時の学籍基礎データ作成業務、入学前教育関係業務のほか、個人を特定できない方法・形式による統計資料の作成のために限り利用します。

その際、当該個人情報の漏えい、流出、不正利用などがないよう、「個人情報の保護に関する法律」および本学関係規程などに基づき、遺漏のなきよう管理します。

武庫川学院の教育目標

本学院では、「立学の精神」にうたわれる高い知性、善美な情操、高雅な徳性を兼ね備えた有為な女性の育成を理念に掲げ、幅広い教養と豊かな人間性を育む全人教育を実践し、人・家庭・社会に貢献できる女性の育成を目指しています。

高い知性 「常に真理を追い求める、すぐれた知性」
 善美な情操 「感性豊かな、潤いのある心」
 高雅な徳性 「人を思いやり、人のために尽くす精神」

教育推進宣言

教育目標実現に向け、自立した学生を社会に送り出すため、
 主体性・論理性・実行力を培う女子教育に
 教職員一丸となって取り組みます。

教育目標を実現するため、大学では、それぞれ、学部、学科ごとに教育目的を定め、卒業後、社会で活躍できる人材の育成に取り組んでいます。

武庫川女子大学の入学者受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）（抜粋）

高い知性、善美な情操、高雅な徳性を兼ね備えた有為な女性を育成することをうたった「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（*ディプロマ・ポリシー）に掲げる資質・能力を養うため、主体性・論理性・実行力を培う教育を実現する教育課程編成・実施の方針（*カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるのに必要な、次に掲げる知識・技能・資質・意欲を入学前に備えた女性の入学を求めます。

1. 高等学校までの教育課程を偏りなくまた幅広く修得し、十分な基礎学力を有している。
2. 積極的に勉学に励む姿勢を持っている。
3. 将来に向けて明確な見通しと目的意識を確立している。
4. 豊かな感性と公平な視点を持ち、多様な人々と協同して学ぶ態度を有している。

また、開設する学部・学科のそれぞれの専門性やディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を持つ人材像に対応する、透明性の高い公正な入学者の選抜試験を以下の複数の機会および方法で行います。

※ 令和6年度のアドミッション・ポリシーはP.35をご確認ください。なお、令和5年度のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーは本学ホームページをご確認ください。

2024年度入学者選抜試験（武庫川女子大学）

学部	学科・専攻	一般選抜 (本学独自 試験)	一般選抜 (大学入学共 通テスト利用)	公募制 推薦入試	MUKOJO 未来教育 総合型選抜	指定校 推薦入試	スポーツ 推薦入試	演奏奨 学生入試	附属高校 推薦入試
文学部	日本語日文学科	○	○	○	—	○	○	—	○
	歴史文化学科	○	○	○	—	○	○	—	○
	英語グローバル学科 [英語文化専攻]	○	○	○	○	○	○	—	○
	英語グローバル学科 [グローバルコミュニケーション専攻]	○	○	○	○	○	○	—	○
教育学部	教育学科	○	○	○	○	○	—	—	○
心理・社会福祉学部	心理学科	○	○	○	—	○	—	—	○
	社会福祉学科	○	○	○	○	○	—	—	○
健康・スポーツ科学部	健康・スポーツ科学科	○	○	○	○	○	○	—	○
	スポーツマネジメント学科	○	○	○	○	○	○	—	○
生活環境学部	生活環境学科	○	○	○	—	○	○	—	○
社会情報学部	社会情報学科 [情報メディア専攻]	○	○	○	—	○	—	—	○
	社会情報学科 [情報サイエンス専攻]	○	○	○	—	○	—	—	○
食物栄養科学部	食物栄養学科	○	○	○	—	○	—	—	○
	食創造科学科	○	○	○	—	○	—	—	○
建築学部	建築学科	○	○	○	—	○	—	—	○
	景観建築学科	○	○	○	—	○	—	—	○
音楽学部	演奏学科	○	—	○	—	○	○	○ (声楽・ピアノ専修)	○
	応用音楽学科	○	—	○	—	○	○	—	○
薬学部	薬学科	○	○	○	○	○	—	—	○
	健康生命薬科学科	○	○	○	○	○	—	—	○
看護学部	看護学科	○	○	○	—	○	—	—	○
経営学部	経営学科	○	○	○	○	○	○	—	○

備考 1 上表に掲げる入学試験のほか、大学の一部学科で2年次および3年次編入学試験を実施します。

2 本学生募集要項は、MUKOJO 未来教育総合型選抜について詳細を記載します。その他の入学試験についての詳細は、それぞれ独自の学生募集要項に記載します。

(受験前に必ずお読みください) 受験に関する注意事項・連絡事項

1. 試験場・試験室に関するお知らせおよび注意事項

- (1) 第二次選考の Web 受験票に記載の集合時間にお越しください。(Web 受験票配信日については P.19 「6. Web 受験票について」を参照)
- (2) すべての試験場において、スリッパなどの上履きは不要です。
- (3) 試験場下見のための、試験建物、試験室のあるキャンパスへの立ち入りはご遠慮ください。
- (4) 試験室には時計がありません。入学試験当日は各自で計時機能のみの時計を持参してください。なお、時計の貸し出しは行いません。
- (5) 付添い者は試験室のある建物に入ることはできません。
- (6) 本学の周辺を含め、付近は駐車禁止となっていますので、自動車による来学はできません。
- (7) 試験場・試験室に所持品を忘れてたり紛失した場合は、本学入試センターにお問い合わせください。
本学入試センターで預かる遺失物については、一定期間保管した後、処分します。
- (8) 試験当日、試験場周辺や最寄り駅で、大学関係者等を装い合否を受験生に連絡するという名目で、電話番号など個人情報を記入させ金銭を要求する者がいますが、本学とは一切関係ありません。これらの事例で発生したトラブルには、本学では責任を負いませんので、十分ご注意ください。

2. 受験上の注意

- (1) 受験票は、試験当日必ず持参してください。
- (2) 遅刻者は、受験を許可しません。
- (3) 次のことをすると「不正行為」となる、もしくは不正行為となる場合があります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を命じ、それ以後の受験はできなくなります。不正行為を行った受験生は、以後に実施される本年度の入学試験の受験を認めません。なお、入学検定料は返還しません。
 - ① 志願者以外の者が、志願者本人になりすまして受験を受けること
 - ② 試験場において他の受験生の迷惑となる行為をすること
 - ③ 試験場において試験監督者の指示に従わないこと
- (4) 試験時間の途中で退室することは、体調不良の場合を除き、認めません。なお、救護室での受験はできません。

3. 受験環境について

入学試験の実施に際し、極力静穏な受験環境の保持に努めますが、やむを得ず以下のような場合があることをあらかじめご了承ください。

- (1) 生活騒音（日常生活において通常起こりうる騒音）に対して、特別な対応はしません。
生活騒音の例……自動車・バイク・鉄道・航空機の音、通過する緊急車両のサイレン、工事の音、風音・雨音・雷鳴、イベントや選挙のアナウンス、試験室内の空調や照明などが発する音、動物の鳴き声、他の受験生のせき・くしゃみ・鼻をすする音
- (2) 試験時間中に携帯電話や時計の音・振動などが発生し、発生源のカバンなどが特定できた場合、持ち主の同意なく、試験監督者が試験室外に持ち出し、試験終了まで入試本部で保管することがあります。
- (3) 試験時間中、試験監督者が試験実施上必要な指示・説明・巡回を行うことに伴って生じる音などに対する申し出には応じられません。
- (4) 試験室の設備（机、椅子、空調、照明等）の違いなどは、合否判定の際、考慮しません。

4. 不測の事態への対応について

台風、地震、大雪等の自然災害、感染症（インフルエンザ、はしか、新型コロナウイルスなど）、その他不可抗力により入学試験実施に影響を及ぼすような事態が生じた際は、対応措置を本学ホームページで告知します。

URL <https://www.mukogawa-u.ac.jp/>

不測の事態が発生した場合、試験開始時刻の繰下げ、正規の試験時間を確保するための試験時間の延長、休憩時間の調整、最終終了時刻の変更、試験や合格発表の延期等の措置を取ることがあります。ただし、これらの措置によって生じた受験生の負担費用、その他個人的損害について、本学はその責任を負いません。

5. 感染症に罹患した受験生への対応について

法令で児童生徒等の出席を停止させることができる感染症（インフルエンザ、はしか、新型コロナウイルスなど）に罹患し治癒していない場合は、その感染症が他の受験生や監督者に拡がる恐れがありますので、入学試験の受験をご遠慮いただくことをお願いしております。感染拡大防止の観点から入学試験当日の別室受験の対応は行いません。また、別日程での追試験は行いません。

なお、感染症拡大への対応措置として、感染症罹患のために本学入学試験を欠席する場合、入学検定料返還の対応を行います。

感染症罹患のために本学入学試験を欠席する場合、以下の通り手続きを行ってください。

【感染症に罹患された場合の手続きについて】

(1) 対象者

法令で児童生徒等の出席を停止させることができる感染症（インフルエンザ、はしか、新型コロナウイルスなど）にかかり、治癒していないために入学試験を欠席された受験生

(2) 申請方法

①以下の通り本学入試センターへ電話してください。

ア 受付日：第二次選考入学試験日当日

イ 受付時間：9時00分～17時00分

ウ 電話番号：0798-45-3500

※申請受付時間中に連絡することなく欠席した場合は、通常の欠席として取り扱い、入学検定料の返還対応はいたしません。

②電話による申請受付後、以下の書類を提出いただきます。

ア 感染症罹患による入学試験欠席対応申請書（本学指定様式）

※電話による申請受付後、本学入試センターよりお送りします。

イ 医療機関の診断書 以下の内容が記載

病 名：法令で出席停止が定められている感染症名

加療期間：欠席した試験日が含まれているもの

※医療機関の診断書の提出ができない場合は、本学入試センターにご相談ください。

6. 受験および入学後に特別な配慮が必要な場合について

病気・負傷や障がい等のために、受験時に配慮を必要とする場合は、試験日の2ヶ月前までに、本学入試センター（0798-45-3500）に申し出てください。

また、出願後の不慮の事故等による負傷や急な疾病等で受験時に特別な配慮と措置を希望する場合は、至急入試センターに申し出てください。

申請に基づいて障がい等の状況に応じた配慮を行います。ご希望に添えない場合もありますので予めご了承ください。

入学後の配慮については、学生サポート室（0798-45-3794）になるべく早くお問い合わせください。

入学試験要項

1. 趣 旨

教科・科目試験の成績に留まらない受験生の能力を、学科のアドミッション・ポリシーに照らして多面的に評価することにより、主体的な学習意欲に優れた学生を積極的に受け入れるため、MUKOJO 未来教育総合型選抜を実施します。

2. 制 度

専願制（合格すれば必ず入学することを前提とする）の入学試験制度です。

※本学の公募制推薦入試の併願可。「MUKOJO 未来教育総合型選抜」に合格された場合は、本学の公募制推薦入試の検定料を返還します。

3. 出願資格

以下①②③を満たす女子

※ただし、社会福祉学科（P.11・12）・薬学科（P.16）は「各学科の定める事項の出願資格」を参照してください。

①次の1～3のいずれかに該当する者

- 1 高等学校もしくは中等教育学校を卒業、または2024年3月卒業見込みの者
- 2 通常の過程による12年の学校教育を修了、または2024年3月修了見込みの者
- 3 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2024年3月31日までに該当する見込みの者の内、以下に該当する者
 - ・文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2024年3月31日までに修了見込みの者

②各学科の定める出願資格【「学習成績の状況」基準】を満たす者（詳細は P.8以降の「各学科の定める事項」を参照）

③各学科の定める出願資格【その他出願条件】を満たす者（詳細は P.8以降の「各学科の定める事項」を参照）

高等学校卒業見込み、中等教育学校卒業見込み、高等専門学校第3学年修了見込み、在外教育施設の当該課程修了見込みの者は、出願に「調査書」提出が必要になります。調査書が提出できない場合、出願を受理することはできません。成績証明書等を調査書に代えることはできません。調査書が発行可能かどうか、事前に所属する学校へ確認してください。

出願において、学習成績の状況が必要になる学科については、調査書の提出が必要です。

4. 募集学科〔専攻〕・人員・試験日

学 部	学 科〔専攻〕	募集人員 ※	第一次選考 書類審査 結果発表日	第二次選考 試験日・集合時間・場所		合格発表日
文学部	英語グローバル学科 〔英語文化専攻〕	5名	2023年 10月14日 (土)	2023年 10月21日 (土)	12時30分 中央キャンパス 公江記念講堂	2023年 11月1日 (水)
	英語グローバル学科 〔グローバル・コミュニケーション専攻〕	5名				
教育学部	教育学科	5名				
心理・ 社会福祉学部	社会福祉学科	5名				
健康・ スポーツ科学部	健康・スポーツ科学科	20名				
	スポーツマネジメント学科	10名				
経営学部	経営学科	5名				
薬学部	薬学科	5名			12時30分 浜甲子園キャンパス 研究管理棟 1階会議室	
	健康生命薬科学科	6名				

※得点状況等により、募集人員が充足しない場合があります。

5. 出願手続（インターネット出願のみ）

(1) 出願期間・出願の流れ

①出願登録&入金締切

2023年9月29日（金）までに必ずインターネット上で、出願登録と入学検定料の納入を完了してください。

②出願書類の提出

2023年9月29日（金）までに書類提出システム（J-Bridge System）にアクセスし、所定の入力をしてください。（利用マニュアルはP.23）入力内容は当該システムより印刷したものを控えとして保管しておいてください。

調査書（厳封されたもの）に関しては、郵送のみとします。各自で用意した角2封筒に調査書を封入し、出願期間内に郵便局窓口から簡易書留・速達で郵送してください（出願書類締切日消印有効）。

調査書の提出に関してはP.23を参照してください。

（出願登録・出願書類提出・入金）受付開始	（出願登録・出願書類提出・入金）締切
2023年9月19日（火）	2023年9月29日（金）※

※調査書の提出は締切日までの消印有効です。

(2) 出願書類

各学科の定める事項（P.8～P.18）

- ・本入学試験においては、調査書を除く出願書類はWebの書類提出システム（J-Bridge System）を使用してデータアップロードをしていただきます。郵送や書類の直接提出は受け付けません。
- ・出願書類の虚偽記載について
出願書類の記載事項が事実と異なる場合や不正がある場合は、受験および入学の資格を取り消します。
- ・写真はインターネット出願登録時にアップロードしてください。操作方法は、P.21「インターネット出願方法について」を参照してください。

(3) 出願書類一覧表

学 部	学科〔専攻〕	J-Bridge System で提出	郵送で提出
文学部	英語グローバル学科 〔英語文化専攻〕	<ul style="list-style-type: none"> ・エッセイ ・活動実績を証明できる書類（任意） 	<p style="text-align: center;">調査書 (文部科学省指定の様式により、出身学校長が出願前3か月以内に作成した調査書) 【厳封】</p> <p>提出に関しては P.23を参照してください。</p>
	英語グローバル学科 〔グローバル・コミュニケーション専攻〕	<ul style="list-style-type: none"> ・エッセイ ・活動実績を証明できる書類 	
教育学部	教育学科	<ul style="list-style-type: none"> ・志望理由書 ・自己推薦書 	
心理・ 社会福祉学部	社会福祉学科	<ul style="list-style-type: none"> ・志望理由書 ・ボランティア活動、福祉活動、社会起業等、諸活動等のレポート 	
健康・ スポーツ科学部	健康・スポーツ科学科 〈健康・スポーツ活動アピールタイプ〉	<ul style="list-style-type: none"> ・活動報告書 ・活動内容を証明する参考資料（任意） ・入学後の計画書 	
	健康・スポーツ科学科 〈教員志望アピールタイプ〉	<ul style="list-style-type: none"> ・教職志望理由書 ・入学後の計画書 	
	スポーツマネジメント学科	<ul style="list-style-type: none"> ・活動報告書 ・活動内容を証明する参考資料（任意） ・入学後の計画書 	
薬学部	薬学科	<ul style="list-style-type: none"> ・志望理由書 ・自己推薦書 	
	健康生命薬科学科	<ul style="list-style-type: none"> ・自己推薦書 ・資格を証明できる書類（P.17を参照） ・適正検査（Web で実施）※ 	
経営学部	経営学科	<ul style="list-style-type: none"> ・志望理由書 ・自己推薦書 ・学習活動報告書 ・学習活動をもとにした大学入学後の学びの計画書 	

※出願時に登録したメールアドレスまたは、J-Bridge System から Web 受験に必要な URL、ログイン ID、パスワードを送信します。

(4) 入学検定料

入学検定料納入期間は(1) 出願期間・出願の流れを参照してください。必ず入金締切日までに入学検定料の納入を完了してください。

入学検定料納入方法は①クレジットカード、②ネットバンキング、③コンビニエンスストア、④ ATM（ペイジー）から選択してください。お支払いについては、P.22を参照してください。

入学検定料	35,000円 入学検定料の他に、システム利用料（一律1,000円）が必要です。
--------------	--

以下の点にご注意ください。

- ①いったん納入された入学検定料は、原則返還できません。ただし、入学検定料を返還する場合があります。詳しくは P.20「8. 入学検定料の返還について」を参照してください。
- ②納入期間内に入学検定料を納入されない場合は、出願は無効になります。

日程のフローチャート

出願資格・出願に必要な書類を確認・事前の準備

本学生募集要項を熟読し、出願の準備を進めてください。

「調査書」等出願書類
証明書類の準備、手配

調査書の提出(郵送)P.23を参照
2023年9月29日(金)消印有効

※各学科により必要書類が異な
ります。必ず「各学科の定める
要項」の指示に従ってください。

オンライン申請

入学検定料納入

2023年9月19日(火)9:00

～2023年9月29日(金)23:59

①出願登録、入学検定料納入

URL: <https://sak-sak.net/app/mukojo>

②出願書類提出(J-Bridge System)

URL: <https://j-bridgesystem.jp/app/auth/login>

※②は出願登録期間中は修正および一時保存ができます。

第一次選考 受験票発行

2023年10月5日(木)～2023年10月21日(土)

第一次選考 書類審査結果発表日

2023年10月14日(土)

第二次選考 受験票発行

2023年10月16日(月)～2023年10月21日(土)

第二次選考 試験日

2023年10月21日(土)

第二次選考 合格発表日

2023年11月1日(水)

入学金(入学申込金)および学費納付金納入期間

2023年11月1日(水)～2023年12月15日(金)〔厳守〕

各学科の定める要項

英語グローバル学科〔英語文化専攻〕

求める人物像

- ①入学までに、国語、英語、地理歴史、公民のほか、数学や理科といった教科を含む幅広い基礎知識を備えている人
- ②入学後は欧米の文化や言語、ビジネスコミュニケーション、グローバル・スタディズに関する基礎的および専門的な知識を修得する意欲を持った人
- ③本学科の学修を通して得た専門的知識と論理的思考力等を生かし、自ら課題を発見・解決する能力を身につけ、社会に貢献する意欲を持った人
- ④入学後にアメリカ分校(MUSC)へ4ヶ月間留学し、英語運用能力や異文化を理解する力を身につける意欲を持った人
- ⑤国際社会で通用する幅広い知識と確かな英語力を身につけ、公的機関や民間企業で活躍する意欲を持った人
- ⑥中学校・高等学校の英語科教諭、学校図書館司書教諭、図書館司書等の職に就き、それぞれの分野で活躍し、社会の発展に寄与する意欲を持った人

出願資格（P.4出願資格を必ず確認してください）

【「学習成績の状況」基準】

高等学校等第3学年1学期末まで（卒業者については高等学校等第3学年3学期末まで）外国語教科の学習成績の状況が3.3以上の者

【その他出願条件】

以下①②③を満たす者

- ①学校内外で、他者と協働する活動、異文化理解、英語の学習などに積極的に取り組んできた者（下記「※応募対象となる活動実績について」参照）
- ②その活動実績に関する取り組みを、大学生活や卒業後のキャリアで発揮する意思と能力がある者
- ③本専攻のアメリカ分校留学（参加必須）に意欲的に参加できる者

※応募対象となる活動実績について

応募する活動実績は、応募書類、面接を通じて、入学後の学びに積極的に取り組む姿勢をアピールできるものであること

（例）

他者との協働：生徒会活動、クラス委員、部活動、学校行事、校内外のボランティア活動、地域の活動への参加など
異文化理解：多様なバックグラウンドを持った人々との交流、留学や国際交流など（長期・短期・オンライン含む）
英語の学習：様々なメディア（オンライン動画や書籍など）を活用した英語学習、多読や多聴、資格試験（英検など）への取り組み、英会話レッスンなど

そ の 他：各種コンテスト出場、その他の地道に取り組んできた活動

出願時提出書類

- ①調査書（P.5を確認し郵送してください）
 - ・文部科学省指定の様式により、出身学校長が出願前3ヶ月以内に作成した調査書（厳封）
- ②エッセイ
 - ・テーマは「これまでの積極的な取り組み」：出願の根拠となった活動実績をふまえて学んだことや身につけたことを記すこと
 - ・「ですます調」で記すこと
- ③活動実績を証明できる書類（任意）
 - ・活動内容に関係する諸団体あるいは学校長が発行する活動報告書、証明書、表彰状などがあれば望ましい

選考方法

〔第一次選考〕書類審査

〔第一次選考ポイント〕

- ・エッセイ（800字以上～1200字以内）

(1)文章の内容は、実績（実際に過去に行った・経験したこと）を主体とし、未来への抱負を書く場合は実績を踏まえた内容であることを重視します。

(2)主張とその根拠・理由が明確であることを重視します。

[第二次選考]

・グループディスカッション（日本語）

・個人面接（英語および日本語）

※面接では英語で自己紹介をしてもらい、簡単な質疑応答を行います。その後、日本語で、出願時に提出された書類を中心に、本専攻で学ぶ姿勢などについて尋ねます。

[第二次選考ポイント]

・グループディスカッション

他者の意見に耳を傾け、積極的に反応（※）していることを重視します。

・グループディスカッションおよび個人面接

自分の意見を分かりやすく積極的に発言していることを重視します。

（※）他参加者の発言内容に対して質問したり、同意する点を明らかにして賛同したりなど、ディスカッションに積極的に関わろうとする態度のこと

英語グローバル学科〔グローバル・コミュニケーション専攻〕

求める人物像

- ①入学までに、国語、英語、地理歴史、公民のほか、数学や理科といった教科を含む幅広い基礎知識を備えている人
- ②入学後は欧米の文化や言語、ビジネスコミュニケーション、グローバル・スタディズに関する基礎的および専門的な知識を修得する意欲を持った人
- ③本学科の学修を通して得た専門的知識と論理的思考力等を生かし、自ら課題を発見・解決する能力を身につけ、社会に貢献する意欲を持った人
- ④入学後にアメリカ分校(MUSC)へ4ヶ月間留学し、英語運用能力や異文化を理解する力を身につける意欲を持った人
- ⑤国際社会で通用する幅広い知識と確かな英語力を身につけ、公的機関や民間企業で活躍する意欲を持った人

出願資格（P.4出願資格を必ず確認してください）

【「学習成績の状況」基準】

高等学校等第3学年1学期末まで（卒業者については高等学校等第3学年3学期末まで）の外国語教科の学習成績の状況が3.3以上、かつ「全体の学習成績の状況」が3.0以上の者

【その他出願条件】

以下①②③を満たす者

①未来を担う「Global Citizen（地球市民）」として積極的な活動実績（以下「※応募対象となる活動実績について」参照）を持つ者

◇「Global Citizen」とは、地球上の様々な課題解決に取り組む市民を表現した言葉です。これまでの学校生活・社会生活において、グローバル社会の発展に寄与するあらゆる取り組みが、出願資格における「活動実績」となります。

②その活動実績に関する取り組みを、大学生活や卒業後のキャリアで発揮する意思と能力がある者

③本専攻のアメリカ分校留学（参加必須）に意欲的に参加できる者

※応募対象となる活動実績について

応募する活動実績が「Global Citizenとして他に誇れる内容」であることを、応募書類、プレゼンテーション、面接を通じてアピールでき、かつ「活動実績を証明できる書類」を提出できる内容であれば、分野は問いません。

以下は、活動実績として想定される内容の一例です。

・ローカル活動

地域の発展に資する社会活動や、地域行事・NPO/NGO等での貢献実績（各種ボランティア活動への参加・運営、自治体や地域諸団体との連携活動など）

・グローバル活動

グローバル社会の発展に資する諸活動での表彰実績（各種プレゼンテーションコンテスト、弁論大会、ビジネスプラン発表会、展示会、文化系・体育系競技会等での入賞など）

◇「グローバル活動」は語学力を生かした活動に限りません。日本文化やスポーツ活動を通じた国際交流への取り組みは、出願資格における活動実績と認められます。

・リーダーシップ活動

所属する学校・組織・団体の発展に資するリーダーシップを発揮した実績（生徒会役員、クラブ部長、クラス代表、研究・学習のプロジェクトリーダー、各種行事の実行委員長など）

・その他

グローバル・コミュニケーション分野に関連する顕著な実績（各種資格・検定試験や、学内外での研究・学習発表における卓越した成績・成果など）

出願時提出書類

①調査書（P.5を確認し郵送してください）

・文部科学省指定の様式により、出身学校長が出願前3ヶ月以内に作成した調査書（厳封）

②エッセイ

※「Global Citizen として貢献したいこと」について、出願の根拠となった活動実績をふまえて記すこと

③活動実績を証明できる書類（活動内容に関係する諸団体あるいは学校長が発行する活動報告書、証明書、表彰状など）

選考方法

[第一次選考] 書類審査

[第一次選考ポイント]

・エッセイ（日本語1000字以上～1200字以内）

(1)これまでの活動実績では、「Global Citizen」としての活躍を期待させるものであるかを確認します。

(2)誤字等がなく一貫した明快な主張が書かれているか、また「Global Citizen」として地球規模の課題に将来取り組み意欲が感じられるかを確認します。

[第二次選考]

・プレゼンテーション（日本語または英語、制限時間5分以内）

・質疑応答（日本語および英語）

・個人面接（日本語および英語）

[第二次選考ポイント]

・プレゼンテーション

「Global Citizen の一人として、あなたがどのような能力を発揮できるか」を表現してください。発表されたプレゼンテーションの内容に関する質問をします。

・質疑応答および個人面接

志願者の活動実績がどのように「Global Citizen に求められる役割」と関わっているかについて尋ねます。

教育学科

求める人物像

本学部・学科が育成しようとする資質・能力の基礎となる学力や思考力・判断力を有し、教育や保育について明確な目的意識を持って積極的に勉学に励もうとする意欲ある女性を受け入れます。また、本学部・学科では、小学校教諭一種・幼稚園教諭一種・中学校教諭一種（国語）（英語）・特別支援学校教諭一種免許状および保育士資格が取得できますので、特に教員や保育者として活躍するための資質・能力を高めようとする熱意や責任感を有する者を受け入れます。高い資質・能力を持つ教員または保育者となるためには、文系・理系という枠組みに捉われず、国語、英語、日本史、世界史、数学、化学、生物などの科目を幅広く履修し、確かな基礎学力を備えておくことを求めます。

出願資格（P.4出願資格を必ず確認してください）

【「学習成績の状況」基準】

・高等学校等第3学年1学期末まで（卒業者については高等学校等第3学年3学期末まで）の「全体の学習成績の状況」（評定平均値）が3.0以上の者

【その他出願条件】

・教員や保育士をめざしていること

・教育現場や保育現場において、その充実と発展に貢献しようとする強い意志を持つ者

- ・教育者や保育者として活躍するための基礎的教養、責任感、リーダーシップ、思いやり、協調性、粘り強さ、自己調整力、コミュニケーション能力を高めようとする熱意を持つ者
- ・大学の講義・演習・実習（教育・保育の現場での学外実習など）に真摯に取り組む者
- ・部活動やボランティア、生徒会活動の他、勉学以外にも仲間や周囲の人々とともに切磋琢磨してきた者

出願時提出書類

- ①調査書（P5を確認し郵送してください）
 - ・文部科学省指定の様式により、出身学校長が出願前3ヶ月以内に作成した調査書（厳封）
- ②志望理由書
- ③自己推薦書

選考方法

[第一次選考] 書類審査

[第一次選考ポイント]

- ・調査書
 - 文系・理系問わず幅広く履修し確かな基礎学力を備えていること
- ・志望理由書（1000字以上～1200字以内）
 - 大学での学びや卒業後に目指す自身の姿を思い描き、本学教育学科を志す理由を具体的に記すこと
- ・自己推薦書（1000字以上～1200字以内）
 - これまでの学びを自己評価（学習・活動から得られたこと、今後の課題など）したうえで、「求める人物像」や「その他出願条件」に記された内容に関連して、力を入れて取り組んできたことなどを手がかりに自己アピールすること

[第二次選考]

- ・小論文（60分）
- ・課題解決ワークショップ（60分）
- ・個人面接（20分）

[第二次選考ポイント]

- ・小論文
 - 教育や保育に関係するテーマを当日提示する
- ・課題解決ワークショップ
 - グループで活動を行い発表する。その過程における責任感、リーダーシップ、思いやり、協調性、粘り強さ、自己調整力、コミュニケーション能力などの資質・能力を総合的に評価する
- ・個人面接
 - 第一次選考時の提出書類、小論文、ワークショップの内容を踏まえて質問する

社会福祉学科

求める人物像

- ①本学科のアドミッション・ポリシーと合致し、学科の理念や内容をよく理解している者
- ②本学科で学びたい意欲が明確であり、問題意識やテーマをもって入学する者
- ③傾聴力と何事に対しても参加意欲がある者

出願資格（P4出願資格を必ず確認してください）

高等学校もしくは中等教育学校を2023年3月卒業、または2024年3月卒業見込みの女子

【「学習成績の状況」基準】

高等学校等第3学年1学期末まで（卒業者については高等学校等第3学年3学期末まで）の「全体の学習成績の状況」（評定平均値）が3.5以上の者

【その他出願条件】※以下①～③のいずれかを満たす必要があります。

- ①社会福祉学科で学ぶことを強く希望し、将来福祉関係の分野で貢献したいという強い意志を持つ者
- ②社会福祉学科のアドミッション・ポリシーに適合し、将来、社会福祉、多文化共生、国際貢献、ソーシャル・ビジネス（社会起業等）等の分野において貢献したいという強い意志を持つ者
- ③次の(1)から(4)のいずれかに該当する者

- (1)高等学校等において福祉に関連する科目（介護・保育・家庭・公共・生活科学等）を1科目以上修得（見込みを含む）した者
- (2)高等学校等に在学中にボランティア活動、福祉活動、その他社会起業等の社会的活動を継続して6カ月以上行い、リーダー的役割を果たした者
- (3)中学卒業後から出願時までの諸活動（言語・学芸・スポーツ等）において優れた成績を持つ者
- (4)社会的養護（児童養護施設、里親家庭での生活等）の経験又は受験時にその状態にある者

(4)については、こども家庭庁が掲げる「こどもまん中の社会を実現する」理念に基づき、社会的養護の経験にある者の大学進学を支援し、本学本学科が目指す社会福祉学の理念と教育の発展に寄与することを目指して実施されるものです。

出願時提出書類

①と②は全員提出。③～⑤に関しては、いずれか1つを提出すること

①調査書（P.5を確認し郵送してください）

・文部科学省指定の様式により、出身学校長が出願前3ヶ月以内に作成した調査書（厳封）

②志望理由書

③高等学校等に在学中にボランティア活動、福祉活動、その他社会起業等の社会活動を継続して行い、その内容を論じ、考察したレポート * 1

④中学卒業後から出願時までの諸活動（言語 * 2・学芸・スポーツ等）において得た内容と得た能力を論じたレポート * 1

⑤〔その他出願条件〕の(1)または(4)に該当する者は、(1)または(4)に該当する経験の内容、経験を生かした学びの計画を具体的に記すこと

* 1 活動継続期間は、頻度と継続年数を記載すること（例：月2回、2年間継続など）。また③～⑤は、いずれか1つを提出すること

* 2 言語については、以下のいずれかの試験を受験し、その基準を満たす者。そのスコアカードまたは合格証明書により英語能力を証明できるもの。（アの受験時期は問わないが、イ～カについては2022年4月以降に受験したものに限り）を提出すること

ア. 実用英語技能検定 準2級以上

イ. TOEFL iBP® テスト（2022年4月以降に受験したもの）50点以上

ウ. IELTS (Academic Module) 4.5以上

エ. GTEC（4技能）または GTEC-CBT * オフィシャルスコアに限る 950点以上

オ. TEAP 230点以上

カ. TOEIC L & R 500点以上

選考方法

[第一次選考] 書類審査

[第一次選考ポイント]

・志望理由書（800字以上～1000字以内）

これまでの自身の学び等の経験をふまえ、社会福祉学科を志す理由を具体的に記すこと

・レポート（出願時提出書類③と④のいずれかについて）（800字以上～1000字以内）

活動の内容と活動を通して得た知識、自身の力となったことを中心に具体的に説明すること

・学びの計画（出願時提出書類⑤について）（800字以上～1000字以内）

経験の内容を400字で説明した後に、経験を生かした具体的な計画を400字で説明すること

[第二次選考]

・本学科教員が実施する模擬授業（60分程度）への参加

—社会福祉の今日的なテーマ、社会的な問題について講義を行います。

—講義は最初に構成を説明し、本題に入ります。

—模擬授業の内容のまとめと感想の記述

・グループワーク（45分程度 当日提示される課題を4～6人程度の小グループで実施）

—与えられたテーマについて5分間自分で考えてからグループワークに入ります。

・個人面接（20分程度）

[第二次選考ポイント、留意点]

- ・ 模擬授業の内容のまとめと感想の記述
 - (1) 講義テーマ全体の概要、構成される内容について論理的にまとめることができる
 - (2) 特に印象に残る内容を紹介し、その理由と自らの考え等を感想として述べるができる
 - (3) メモ用紙に、講義の要点やキーワード等をメモできている
- ・ グループワーク
 - (1) 自分の考えを簡潔に述べるができる
 - (2) 人の意見を聞くことができ、意見を聞いたうえで自分の意見を述べるができる
 - (3) 人の発言に関心を持ち掘り下げる質問ができる
 - (4) 笑顔でコミュニケーションを取ろうとする積極的な姿勢が見られる
- ・ 個人面接

提出書類に基づく質疑に適切に答えることができる

健康・スポーツ科学科

求める人物像

- ① 教育および生涯学習における運動指導現場において、健康・スポーツ教育の充実に貢献しようとする者
- ② 競技スポーツにおけるジュニア期以降のスポーツ指導・サポート現場において、優れたコーチングとトレーニング指導によって競技力向上に貢献しようとする者
- ③ 地方自治体や企業・民間のスポーツ施設における施設・プログラム管理現場、医療・福祉施設・幼児施設等における運動・フィットネス指導現場において、スポーツ・運動・身体活動を通じた健康支援に貢献しようとする者
- ④ スポーツ関連の企業や団体、スポーツイベントの企画・運営などのスポーツビジネス分野で活躍しようとする者

出願資格（P.4出願資格を必ず確認してください）

【「学習成績の状況」基準】

高等学校等第3学年1学期末まで（卒業者については高等学校等第3学年3学期末まで）の「全体の学習成績の状況」（評定平均値）が3.0以上の者

【その他出願条件】

以下の①または②に該当する者

- ① 〈健康・スポーツ活動アピールタイプ〉 運動部活動、サークル、地域・民間のクラブ、体育行事、ボランティアなどで、スポーツ活動や健康増進に関わる活動に継続的に関わった経験があり、そこで学んだことをアピールできる者
- ② 〈教員志望アピールタイプ〉 中学校・高等学校保健体育の教員志望の気持ちが強く、その適性がある者

〈健康・スポーツ活動アピールタイプ〉

出願時提出書類

- ① 調査書（P.5を確認し郵送してください）
 - ・ 文部科学省指定の様式により、出身学校長が出願前3ヶ月以内に作成した調査書（厳封）
- ② 活動報告書
- ③ 活動内容を証明する参考資料
- ④ 入学後の計画書

選考方法

[第一次選考] 書類審査

[第一次選考ポイント]

- ・ 調査書

大学での修学に必要な基礎学力があるかを確認します。
- ・ 活動報告書（800字以上～1200字以内）

活動内容の詳細やそこで得たこと・学んだことを記すこと
- ・ 活動内容を証明する参考資料（記録、書面、写真、ノートなど）

活動報告書の内容をより理解しやすくするための補完資料があれば提出すること

- ・入学後の計画書（800字以上～1200字以内）
将来計画と入学後の学習計画・学習意欲を記すこと

[第二次選考]（5人程度のグループ単位で行う）

- ・プレゼンテーション（5分）
- ・グループディスカッション（30分）
- ・個人面接（5分）
グループディスカッションでの議論をふまえて、触発されたこと（その理由）

[第二次選考ポイント]

- ・プレゼンテーション
提出書類に記述した経験およびそこで得たこと、これから生かしたいことをわかりやすく自分のことばでプレゼンテーションをしてください。
※プレゼンテーションは手元にメモをもって実施してもよいですが、パワーポイントなどのスライドや配布資料は使えません。
- ・グループディスカッション
グループのメンバーのプレゼンテーションを聞いて考えたことなどをもとに交流します。状況に応じた適切な発言でディスカッションをコントロールできているかがポイントとなります。
- ・個人面接
グループディスカッションを踏まえて、自分の考えをより深めたり修正したりすることができているかがポイントとなります。

〈教員志望アピールタイプ〉

出願時提出書類

- ①調査書（P.5を確認し郵送してください）
・文部科学省指定の様式により、出身学校長が出願前3ヶ月以内に作成した調査書（厳封）
- ②教職志望理由書
- ③入学後の計画書

[第一次選考] 書類審査

[第一次選考ポイント]

- ①調査書
大学での修学に必要な基礎学力があるかを確認します。
- ②教職志望理由書（800字以上～1000字以内）
中高保健体育科教員志望の強い気持ち、自身の教職への適性をアピールすること
- ③入学後の計画書（800字以上～1000字以内）
どのような教員になりたいのか、そのような教員になるための入学後の課題や計画を具体的に記すこと

[第二次選考]（5人程度のグループ単位で行う）

- ・与えられたテーマ（※）で模擬授業（他のメンバーを生徒役として行う）（5分）
- ・グループディスカッション（30分）
- ・個人面接（5分）
グループディスカッションでの議論をふまえて、触発されたこと（その理由）

[第二次選考ポイント]

- ・模擬授業
与えられた時間を使ってテーマに沿った内容でわかりやすい模擬授業を実施してください。
※模擬授業のテーマ：体育の授業で取り上げたいスポーツ種目を一つ選び、高校1年生を対象とした授業の初回の導入部分を5分程度で行ってください。この導入の目的は、これまであまりそのスポーツに親しんでこなかった高校1年生に「面白そうだからやってみよう」と思わせることです。
※模擬授業は実技を伴わない形で行ってください。手元にメモをもって実施してもよいですが、パワーポイントなどのスライドや配布資料・教具は使えません。
- ・グループディスカッション
グループのメンバーの模擬授業を受けて考えたことなどをもとに交流します。状況に応じた適切な発言でディスカッションをコントロールできているかがポイントとなります。

・個人面接

グループディスカッションをふまえて、自分の考えをより深めたり修正したりすることができているかがポイントとなります。

スポーツマネジメント学科

求める人物像

- ①スポーツ関連の企業や団体、スポーツイベントの企画・運営などのスポーツマネジメント分野で活躍しようとする者
- ②地方自治体や企業・民間のスポーツ施設における施設・プログラム管理現場、医療・福祉施設・幼児施設等における運動・フィットネス指導現場において、スポーツ・運動・身体活動を通じた健康支援に貢献しようとする者
- ③教育および生涯学習における運動指導現場において、健康・スポーツ教育の充実に貢献しようとする者
- ④競技スポーツにおけるジュニア期以降のスポーツ指導・サポート現場において、優れたコーチングとトレーニング指導によって競技力向上に貢献しようとする者

出願資格 (P.4出願資格を必ず確認してください)

【「学習成績の状況」基準】

高等学校等第3学年1学期末まで(卒業者については高等学校等第3学年3学期末まで)の「全体の学習成績の状況」(評定平均値)が3.0以上の者

【その他出願条件】

運動部活動、サークル、地域・民間のクラブ、体育行事、ボランティアなどで、スポーツ活動や健康増進に関わる活動に継続的に関わった経験があり、そこで学んだことをアピールできる者

出願時提出書類

- ①調査書 (P.5を確認し郵送してください)
 - ・文部科学省指定の様式により、出身学校長が出願前3ヶ月以内に作成した調査書(厳封)
- ②活動報告書
- ③活動内容を証明する参考資料(任意)
- ④入学後の計画書

選考方法

[第一次選考] 書類審査

[第一次選考ポイント]

- ・調査書
大学での修学に必要な基礎学力があるかを確認します。
- ・活動報告書(800字以上~1200字以内)
活動内容の詳細や活動から得たこと・学んだことを記すこと
- ・活動内容を証明する参考資料(記録、書面、写真、ノートなど)
活動報告書の内容をより理解しやすくするための補完資料があれば提出すること
- ・入学後の計画書(800字以上~1200字以内)
将来計画と入学後の学習計画・学習意欲を記すこと

[第二次選考]

- ・グループディスカッション(5人程度のグループ単位で30分)
- ・個人面接(10分)
活動報告書、入学後の計画書、グループディスカッションでの議論をもとにした個人面接

[第二次選考ポイント]

- ・グループディスカッション
提示されたスポーツをめぐる諸課題に関する資料をもとに、課題解決に向けたマネジメントのあり方について意見を述べることができる
グループメンバーの意見をふまえて積極的に発言ができる
- ・個人面接

活動報告書、入学後の計画書、グループディスカッションをもとにした質問に対して、自分の考えを述べることができる

質疑の中で、自分の考えをより深めたり修正したりすることができる

※グループディスカッションは手元にメモをもって実施してもよいですが、パワーポイントなどのスライドや配布資料は使えません。

薬学科

求める人物像

- ①医薬品や病態・薬物治療の基本となる基礎学力（化学・生物・数学・英語・国語）を有し、将来薬剤師有資格者として、医療の発展に貢献したい、あるいは、健康・福祉その他の分野で社会貢献したいという強い意欲がある。
- ②医療や健康・福祉などに携わる者としての使命感と倫理観を有し、思いやりと協調性、コミュニケーション能力を身につけようとする姿勢がある。
- ③科学的な思考力と問題提起・解決能力を身につけることの重要性を理解できる。
- ④自ら学ぼうとする強い意欲、地道に努力する勤勉さがある。

出願資格（P.4出願資格を必ず確認してください）

高等学校もしくは中等教育学校を2024年3月卒業見込みの女子（現役生）

【「学習成績の状況」基準】

高等学校等第3学年1学期末までの「全体の学習成績の状況」（評定平均値）が3.8以上かつ、「化学」または「生物」を履修していること

【その他出願条件】

なし

出願時提出書類

- ①調査書（P.5を確認し郵送してください）
 - ・文部科学省指定の様式により、出身学校長が出願前3ヶ月以内に作成した調査書（厳封）
- ②志望理由書
- ③自己推薦書

選考方法

[第一次選考] 書類審査

[第一次選考ポイント]

- ・調査書
薬学の学びの基本となる基礎学力を有しているか
- ・志望理由書（400字以上～500字以内）：本学科の志望動機、志望理由
- ・自己推薦書（400字以上～500字以内）：高校時代の学習、諸活動を通じて、自らの成長のために努力したこと
本学が求める人物像をふまえて記されているか
薬学の学びを理解し、本学で学ぶ意欲が、論理的かつ具体的に記されているか
高校時代の経験が薬学での学びにどのように結びつくのか、根拠となるエピソードをもとに具体的に記されているか

[第二次選考] 第一次選考の内容を合わせて総合的・多面的に評価します。

- ・課題レポート（60分）
薬・医療・薬剤師等に関する文章を読み、自分の考えを時間内に記述する
- ・個人面接（15分）
第一次選考で提出した書類および課題レポートに記した内容等に関して問う

[第二次選考ポイント]

- ・課題レポート
課題の内容を正しく理解し、自分の考えを論理的に記述できているか
- ・個人面接
自分の意見を積極的に伝えることができるか
面接官の質問を正しく理解し、対話がスムーズに進むか
身だしなみ、話し方（話すスピード、声の大きさ、目線等）は適切か

健康生命薬科学科

求める人物像

- ①十分な基礎学力を有するとともに、自然科学に興味を持っており、自ら学ぼうとする強い意欲、地道に努力する勤勉さがある。入学前には、学修の基礎となる化学、生物、国語、外国語、数学の基礎的な知識を幅広く身につけていることを求める。
- ②科学的な思考力・問題解決能力や真実に基づく考察の重要性を理解できる。
- ③薬学研究に取組み、研究成果を通して、人類の健康と福祉に貢献したいという強い意志がある。もしくは、中学・高等学校の理科教員として、後継者育成活動に寄与したいという強い意志がある。

出願資格（P.4出願資格を必ず確認してください）

【「学習成績の状況」基準】

なし

【その他出願条件】

なし

出願時提出書類（適性検査を含む）

- ①調査書（P.5を確認し郵送してください）
 - ・文部科学省指定の様式により、出身学校長が出願前3ヶ月以内に作成した調査書（厳封）
- ②自己推薦書
 - ・第一次選考ポイント(3)について資格取得に関して記述した場合、証明する書類を添付すること
- ③適性検査（Web で実施）
 - ・強みや志向を見るための検査（20分～30分程度）
 - ・第一次選考では使用しません。第二次選考の面接時に参考資料として使用します
 - ・出願時に登録したメールアドレスまたは、J-Bridge System から Web 受験に必要な URL、ログイン ID、パスワードを送信します

選考方法

[第一次選考] 書類審査

[第一次選考ポイント]

- ・自己推薦書（1000字以上～1600字以内）
 - (1)大学を卒業して社会に出るとき（社会人になるとき）、どのような目標を持っているか
 - (2)(1)を達成するために本学でどのような目標を持っているか。入学後に学びたい（学内外で活動したい）内容とその計画について記すこと
 - (3)高等学校等に入学してから現在までの学校内外の諸活動（勉学をはじめ、ホームルーム活動、生徒会活動、クラブ・部活動、ボランティア活動、留学・海外経験、資格取得、探究活動の成果など）について記し、そのうちもっともエネルギー（努力や時間）を傾けた活動について、その理由およびそこから学んだことを記すこと
 - (4)各段落の冒頭に指示された番号(1)～(3)を記してから本文を記すこと（文字数の配分は任意）

[第二次選考]

- ・医薬品、化粧品、健康食品および周辺領域に関する小論文（60分）
- ・個人面接（20分）

[第二次選考ポイント]

- 自己推薦書ならびに適性検査の結果を参考に面接を行う
- ・自己推薦書に記載した活動について、口頭でのプレゼンテーションを課す
 - ・適性検査の結果を参考に、意欲、目的意識などを問う

経営学科

求める人物像

①知識と技能

入学までに履修する教科・科目を幅広く修得し、大学で学ぶための基礎学力を有する者、もしくは同等の知識と技能を有する者

②思考・判断力と表現力

人や社会、自身が目指す将来キャリアについて、これまで習得した知識や情報をもとにして、筋道を立てて自分の考えをまとめ、それを文章や口頭で表現できる者

③主体性と協働的態度

社会的な活動に主体的に、かつ他者とコミュニケーションをとりながら協働して取り組むことのできる者

④興味と意欲

経営学を中心とする本学科での学びに興味を持ち、その学びを自らの将来キャリアをデザインするための知識・技能として活用しようとする意欲を有する者

出願資格 (P.4出願資格を必ず確認してください)

【「学習成績の状況」基準】

高等学校等第3学年1学期末まで(卒業者については高等学校等第3学年3学期末まで)の「全体の学習成績の状況」(評定平均値)が4.0以上の者

【その他出願条件】

なし

出願時提出書類

①調査書 (P.5を確認し郵送してください)

・文部科学省指定の様式により、出身学校長が出願前3ヶ月以内に作成した調査書(厳封)

②志望理由書

③自己推薦書

④学習活動(探究学習、海外留学など)報告書

⑤学習活動をもとにした大学入学後の学びの計画書

選考方法

[第一次選考] 書類審査

[第一次選考ポイント]

- ・志望理由書(400字以上～600字以内)
- ・自己推薦書(400字以上～600字以内)
- ・学習活動報告書(800字以上～1200字以内)

探究学習や海外留学について記述すること。また、学習活動報告書について画像や写真等よく分かる内容があれば添付すること

次の(1)～(3)について確認します。

(1)目的や目標の明確さ

探求や留学の目的や目標が明確に説明されているかどうかを確認します。

(2)活動内容の詳細さ

活動の内容が詳細に説明されているかどうかを確認します。

(3)成果や効果の評価

活動の成果や効果について、評価がなされているかどうかを確認します。

- ・入学後の学習計画書(400字以上～600字以内)

学習活動をもとにした、大学入学後の学習計画について記述してください。

[第二次選考]

- ・学習活動報告書に記載した内容についてのプレゼンテーション(10分)
- ・個人面接(20分)

[第二次選考ポイント]

次の(1)～(3)、および本学科の「求める人物像」に合致するかどうかについて評価します。

(1)コミュニケーション能力

聞き手に対する言語および非言語の表現力、聞き手との質疑応答のスムーズさ、適切さなどを評価します。

(2)プレゼンテーションの構成

プレゼンテーションの内容がテーマに沿って適切に構成され、明確に伝えられているかどうかを評価します。

(3)ビジュアルデザイン

プレゼンテーションの資料やスライドのデザインが、適切で分かりやすく、視覚的に印象的であるかどうかを評価します。

6. Web 受験票について

第一次選考の Web 受験票は2023年10月5日（木）午後から、第二次選考は2023年10月16日（月）午後から「【武庫川女子大学】 受験票確認のお知らせ」をメールします。メール到着後、インターネット出願サイトの出願確認画面ページにて Web 受験票を確認してください。

試験日当日は Web 受験票を必ず印刷（A4横向き）し持参してください（携帯電話等の提示では受験できません）。

※受験票を印刷したら、出願した学科〔専攻〕および試験日等を必ず確認してください。出願した内容〔出願した学科〔専攻〕および試験日〕は一切変更することができません。出願した内容と異なる場合は、本学入試センターに連絡してください。

※自宅にプリンターがない場合はコンビニエンスストア等を利用し、印刷してください。

試験区分	Web 受験票配信期間
第一次選考	2023年10月5日（木）午後～2023年10月21日（土）17：00
第二次選考	2023年10月16日（月）午後～2023年10月21日（土）17：00

〈Web 受験票確認・出力方法〉

登録済のユーザ ID・パスワードを入力し **出願状況確認** ボタンをクリックします。

出願受付番号をクリックします。

出願状況詳細の受験番号欄にある印刷ボタンをクリックすると受験票が PDF ファイルで出力されます。

受験票を A4 横向きで印刷

※受験票 PDF の内容を確認し、出願内容に間違いがなければ受験票を印刷し、試験当日持参してください。

7. 合格発表

- (1) 合否の判定結果の通知方法は第一次選考と第二次選考で異なります。
- 〈第一次選考〉本学ホームページの受験生サイトの「合否照会」にて、結果発表日の正午から2023年10月21日（土）17：00まで合否照会が可能です。不合格者には書類審査結果の通知と第二次選考分入学検定料返還願を郵便にて発送します。
- 〈第二次選考〉郵便の発送をもって本人宛に通知します（合格発表日前日の夕方に発送する予定ですが、郵便事情などにより、到着が合格発表日の翌日以降になる場合もあります）。
- また本学ホームページの受験生サイトの「合否照会」からも合格発表日の正午から2023年11月8日（水）17：00まで合否照会が可能です。
- (2) 学内掲示は行いません。
- (3) 判定結果の問い合わせには一切応じられません。
- (4) 結果は、受験生が出身校への通知を許可している場合、後日、出身学校長宛にも通知します。

第一次選考書類審査結果発表日	2023年10月14日（土）
第二次選考合格発表日	2023年11月1日（水）

8. 入学検定料の返還について

- (1) 第一次選考不合格の場合
- 第二次選考入学検定料20,000円を返還します。
- 判定通知書と一緒に入学検定料返還に必要な書類を同封します。必要事項を記入し、提出期間内に必ず提出してください。

返還申出期間 2023年10月14日（土）～10月27日（金）（17：00必着）厳守
入学検定料返還期日は同封の書類でお知らせします。

- (2) 本学の公募制推薦入試に出願している方で第二次選考に合格の場合
- 本学の公募制推薦入試の入学検定料を返還します。返還については次の期間内に文書で申し出てください。詳しくは合否判定通知書に同封する書類をご確認ください。

返還申出期間 2023年11月1日（水）～11月14日（火）（17：00必着）厳守
本学の公募制推薦入試の入学検定料返還期日は同封の書類でお知らせします。

提出期間内に所定の書類を提出されない場合は、入学検定料は返還できません。

提出先

〒663-8558（左記郵便番号があれば住所記入不要）

武庫川女子大学 入試センター』宛

簡易書留・速達にて郵送してください。封筒は各自で用意し、「検定料返還手続き書類在中」と赤色で明記してください。（書類を受理した旨の通知は発送しません）。

インターネット出願方法について

《注意事項》

出願期間内（P.5参照）にSTEP4：調査書の郵送を必ず完了できるように、ご利用の郵便局窓口受付時間を事前に確認して、早めに手続きをしてください。

出願手順

STEP 1

武庫川女子大学のホームページ（受験生サイト）にアクセスしてください。

<https://www.mukogawa-u.ac.jp/~nyushi/>

⇒ 『MUKOJO 未来教育総合型選抜』 ページをクリック

※8月1日（公開予定）に「MUKOJO 未来教育総合型選抜」 ページをオープンします。

STEP 2

出願登録をしてください。

画面の指示に従い、必要な項目や出願したい学科等を入力してください。〈初めて出願する方〉用と、ユーザ登録をされた方〈ユーザ登録済の受験生用〉と分かれていますので、該当するボタンをクリックしてください。

ユーザ登録は必須です。ユーザ登録により、登録した出願状況の確認ができます。[注意] 入学検定料を納入した後の志願先学科の変更は認められませんので、ご注意ください。

〈例〉



〈例〉の画面は実際の画面と異なる場合があります

推奨環境（これ以外の環境は推奨していないため、レイアウト崩れ等の可能性があります）
〈パソコン〉

Windows10以上

Microsoft Edge バージョン111.0以上

Google Chrome バージョン111.0以上

mac OS 13.3以上

Safari バージョン16.4以上

〈スマートフォン・タブレット〉

Android OS13.0以上

Google Chrome バージョン111.0以上

iOS 16.4以上

Safari バージョン16.4以上



①試験方式画面（イメージ）



②志願先学科選択画面（イメージ）



③志願者情報登録画面（イメージ）

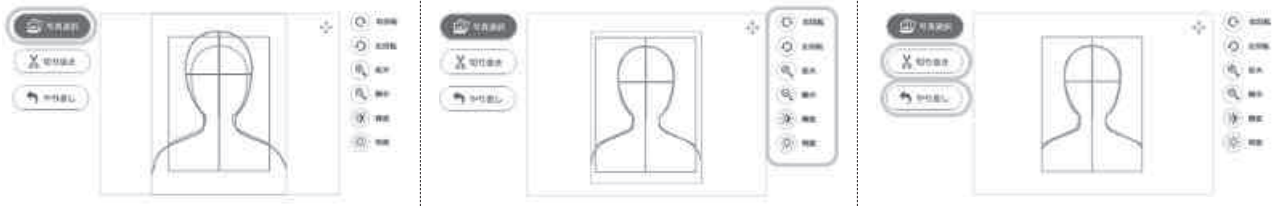
出願登録後に表示される出願受付番号等を控えてください。

出願受付番号は出願書類郵送時の封筒にも記載してください。

※お支払い番号とは異なります（STEP3を参照してください）。

	出願受付番号	備考欄
MUKOJO未来教育総合型選抜	2023 -	
ユーザ登録は必須です。 必ず控えてください。	ユーザーID	パスワード

写真のアップロード方法



① 「写真選択」 ボタンをクリックして証明写真を選択してください。
※ファイル形式は JPEG のみ対応となります。

② 写真をサイズや位置などを修正して切り抜き用の枠に合わせてください。

③ 「切り抜き」 ボタンをクリックして証明写真を作成してください。

④ 失敗した場合はやり直してください。

STEP 3 入学検定料のお支払いをしてください。

入学検定料の他に、システム利用料（一律1,000円）が必要です。



（注）未入金の状態では、出願は完了していません。必ず、お支払い手続きを済ませてください。

③コンビニエンスストア・④ATM（ペイジー）でお支払いされる方〔ご注意ください〕

コンビニ・ATMでのお支払い時に必要となるお支払い情報は、忘れずお持ちください。各コンビニ、ATMにより必要な情報（番号）が異なります。

番号を控えるために下の表をご利用ください。

セブンイレブン	払込票番号	
ローソン・ミニストップ	お支払い受付番号	
	お客様電話番号	
ファミリーマート	収納番号	(左5桁) 20020
		(右12桁)
デイリーヤマザキ	決済番号	
セイコーマート	お支払い受付番号	
	電話番号	
ATM（Pay-easy利用ATM）	収納機関番号	58171
	お客様番号	
	確認番号	

STEP 4

調査書（および出願確認票）を郵送してください。

STEP3で入学検定料をお支払いの後、再度インターネット出願にログイン（P.21 STEP2<ユーザー登録済の受験生用>からログイン）してください。提出用書類印刷ボタンをクリックし、封筒貼付用紙および出願確認票を印刷してください。

○「出願用封筒」を作成する

市販の封筒を使用し、必要事項を記入した封筒貼付用紙を貼り付けてください。

封筒の中に調査書および出願確認票を入れてください。

出願期間内に郵便局窓口から簡易書留・速達で郵送してください。

封筒イメージ

速 達	
6 6 3 8 5 5 8	
兵庫県西宮市池開町6番46号 武庫川女子大学入試センター MUKOJO未来教育総合型選抜係 御中	
簡易書留	書留引受番号
速 達	
■太枠内をすべて記入してください。	
今回の出願受付番号 2 0 2 3 -	
差出人 (出願者)	〒 - 自宅Tel. () - 携帯Tel. () - (フリガナ)
	氏名
調査書と 出願確認票封入 および支払い チェック欄	調査書と出願確認票を封入しました。 → <input checked="" type="checkbox"/>
	入学検定料を支払いました。 → <input checked="" type="checkbox"/>
■今回の出願学科/専攻に○をつけてください。	
<input type="checkbox"/> 英語グローバル学科 [英語文化専攻]	<input type="checkbox"/> 健康・スポーツ科学科
<input type="checkbox"/> 英語グローバル学科 [グローバル・コミュニケーション専攻]	<input type="checkbox"/> スポーツマネジメント学科
<input type="checkbox"/> 教育学科	<input type="checkbox"/> 薬学科
<input type="checkbox"/> 社会福祉学科	<input type="checkbox"/> 健康生命薬科学科
	<input type="checkbox"/> 経営学科

出願用封筒に貼る様式はイメージです。実際の様式は多少異なる場合があります。

様式を印刷して、封筒に貼り付けてください。

STEP 5

J-Bridge System で出願書類の入力をしてください。

「MUKOJO 未来教育総合型選抜」ページにてJ-Bridge System の操作マニュアルや動画をアップします。（8月1日公開予定）出願までに必ず確認しておいてください。

9. 入学手続

入学手続の詳細については、判定通知書に同封する書類によりお知らせしますが、次の期間内に入学金（入学申込金）および学費等納付金を納入してください（入学金および学費等納付金については、次ページを参照）。

★入学金（入学申込金）および学費等納付金納入期間：2023年11月1日(水)～2023年12月15日(金)〔厳守〕

〔最終日は当日振り込み扱いに限ります。金融機関によって、当日振り込み扱いが可能な時間が異なり、振り込み時間（特に午後）によっては、翌営業日振り込み扱いになります。その場合は、納入期間外の振り込みになるため入学手続を受け付けません。ご注意ください。〕

武庫川女子大学では、入学金および学費等納付金の納入後、「入学許可書」「学納金納付完了通知」などの文書は発行しておりません。入学金および学費等納付金納入の際の領収書は、大切に保管してください。

- | |
|---|
| <p>(注意) (a) 期限までに手続きを完了しない方は、入学を辞退したものとみなしますので、期限を厳守してください。
(b) 出願書類に虚偽の記載があった時は、合格を取り消す場合があります。
(c) いったん納入された入学金（入学申込金）は、いかなる場合も返還できません。</p> |
|---|

10. 入学金および学費等納付金

納付金は下表のとおりです。(参考：2023年度入学生納付金。2024年度入学生納付金等については、7月頃本学受験生サイトで更新します)

(単位：円)

学部・学科	大 学											
	文学部		教育学部	心理・社会福祉学部	健康・スポーツ学部	生活環境学部	社会情報学部	食物栄養科学部	建築学部			
	日本語日本文学	英語グローバル	教育	心理 社会福祉	健康・ スポーツ科学	スポーツ マネジメント	生活環境	社会情報	食物栄養	食 創 造 科 学	建 築	景 観 建 築
大 学	申入 込金	入 学 金										
	学 費	授 業 料 (第1回・第2回共通額)	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
		教育充実費 (第1回・第2回共通額)	447,500	447,500	497,500	497,500	497,500	497,500	495,000	497,500	560,000	
		実験実習費 (第1回・第2回共通額)	100,000	100,000	115,000	115,000	115,000	125,000	90,000	125,000	150,000	
		実務実習費 (第1回・第2回共通額)	—	—	—	—	*1 13,000	—	—	25,500	40,000	
	そ 諸 の 他 費	教育後援会費(第1回)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		(第2回)	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	
		学友会費(第1回のみ)	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	
	小計	第1回納入額(入学手続時)	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	
	第2回納入額(10月)	758,700	758,700	823,700	823,700	836,700	833,700	796,200	859,200	961,200		
初年度納入額総額	551,000	551,000	616,000	616,000	629,000	626,000	588,500	651,500	753,500			
2年次以降納入額(年間)	1,309,700	1,309,700	1,439,700	1,439,700	1,465,700	1,459,700	1,384,700	1,510,700	1,714,700			
2年次以降納入額(年間)	1,156,200	*3 1,196,200	1,296,200	1,286,200	*4 1,352,200	1,337,200	1,331,200	1,508,200	1,661,200			

学部・学科	大 学							
	音楽学部		薬学部		看護学部	経営学部		
	演 奏	応 用 音 楽	薬 学	健康 生命薬 科学	看 護	経 営		
大 学	申入 込金	入 学 金						
	学 費	授 業 料 (第1回・第2回共通額)	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
		教育充実費 (第1回・第2回共通額)	685,000	685,000	751,000	565,000	673,500	400,000
		実験実習費 (第1回・第2回共通額)	165,000	165,000	181,000	185,000	164,000	100,000
		実務実習費 (第1回・第2回共通額)	—	—	—	—	—	—
	そ 諸 の 他 費	教育後援会費(第1回)	—	*2 10,000	—	—	—	—
		(第2回)	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
		学友会費(第1回のみ)	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
	小計	第1回納入額(入学手続時)	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200
	第2回納入額(10月)	1,061,200	1,071,200	1,143,200	961,200	1,048,700	711,200	
初年度納入額総額	853,500	863,500	935,500	753,500	841,000	503,500		
2年次以降納入額(年間)	1,914,700	1,934,700	2,078,700	1,714,700	1,889,700	1,214,700		
2年次以降納入額(年間)	1,842,200	1,842,200	2,043,200	1,721,200	1,716,200	1,212,200		

※1 野外実習費1年、2年次のみ

※2 1年次のみ

※3 英語グローバル学科は上記とは別にアメリカ分校留学の参加費が必要です。(P.27参照)。

※4 3、4年次は1,326,200円になります。

〔注意事項〕

1. 入学金（入学申込金）は、初年度のみ納入となります。
2. いったん納入された入学金（入学申込金）は、いかなる場合も返還できません。
3. 学費、教育後援会費は、入学手続き時に年額の半額を第1回分として納入し、10月に残額を第2回分として納入となります。
4. 薬学部の実験実習費は2年次以降の納入となります（薬学科は2～6年次 年額96,000円、健康生命薬科学科は2～4年次 年額160,000円）。
5. 資格課程履修費等、学外・学内実習費等の臨時学費は、該当者のみ別途徴収します（詳細は下表参照）。
6. 本学においては、大学の指示する公的行事に参列する時は所定の制服を着用することが定められています。入学式までに本学指定制服を用意してください。
7. 本学においては、入学に関する寄付金はいっさい受け取りません。
8. 学費等納付金のほか入学手続きについては、P24「9. 入学手続き」をご参照ください。

資格取得に必要な諸経費（参考：2023年度実施分。2024年度資格取得に必要な諸経費については、7月頃本学受験生サイトで更新します）

資格課程履修費等、学外・学内実習費等の臨時学費等は該当者のみ別途徴収します。

前年度参考

資格課程履修費等

(単位:円)

費目	金額
教職課程履修費（高校・中学校） 教育学部は学費に含むため別途徴収なし	40,000
”（高校）	24,000
”（特別支援学校）	16,000
”（栄養教諭）	16,000
保育士課程履修費	48,000
図書館司書課程履修費	15,000
学校図書館司書教諭課程履修費	8,000
博物館学芸員課程履修費	15,000
テキスタイルアドバイザー課程履修費	8,000
社会福祉士国家試験対策費	42,300
精神保健福祉士国家試験対策費	36,000
社会・精保福祉士国家試験対策費	58,300

上記課程履修費には学外実習費を含みます（テキスタイルアドバイザー課程履修費を除く）。

上記以外の模擬試験・各種講座等にかかる実費が必要な場合があります。

学外・学内実習費等

(単位:円)

費目	金額
幼稚園参加実習費	5,000
小学校参加実習費	5,000
中学校参加実習費	5,000
特別支援学校参加実習費	5,000
日本語教授法実習費（国内）	10,000
日本語教授法実習費（国外）	20,000
健康・スポーツ実践実習費	12,000
「ソーシャルワーク実習Ⅰ」実習費	10,000
「ソーシャルワーク実習Ⅱ」実習費	50,000
「ソーシャルワーク実習Ⅲ」実習費 両資格取得希望者	20,000
「ソーシャルワーク実習Ⅲ」実習費 精神のみ取得希望者	32,000
「ソーシャルワーク実習Ⅳ」実習費	30,000
テキスタイルアドバイザー実習費	12,000
「音楽療法実習Ⅱ」実習費	40,000
「音楽療法実習Ⅲ」実習費	40,000
「音楽療法実習Ⅳ」実習費	40,000
「音楽活用実習」実習費	20,000
公認心理師学外実習費	40,000
調理と裁縫の生活スキル実習費	2,500
コンディショニング指導演習Ⅰ実習費	5,500
調理学実習（生活環境学科3年）	9,500
メニュー企画・開発実習（食創造科学科3年）	5,000
スポーツ実技（ゴルフ）利用料	1,000

11. 英語グローバル学科のアメリカ分校留学制度「レギュラー・プログラム」

1990年、アメリカ北西部にあるワシントン州スポケーン市に本学のアメリカ分校を開校しました。英語グローバル学科〔英語文化専攻〕は2年次前期に、〔グローバル・コミュニケーション専攻〕は1年次後期にそれぞれ全員参加の約4カ月間のアメリカ分校留学「レギュラー・プログラム」を実施します。この留学の目的は、英語の4技能（聞く・話す・読む・書く）とアメリカ社会・文化を学習し、国際語としての英語能力と国際感覚を備えた人材を養成することです。

そのため、次のような特色ある独自の留学プログラムを実施しています。

1. 教員はすべてアメリカ人です。大学院で英語教授法に関する分野で修士号を取得した経験豊富な人達ばかりです。
2. 英語力を養成する科目は1クラス12名程度、アメリカ文化などに関する講義は1クラス24名程度の少人数制をとっています。
3. 留学中に米国主要都市などを訪れる旅行をカリキュラムの一環として位置付けています。事前に授業で学んだ知識を現地で実践的に確認し、アメリカ文化や歴史について理解をより一層深めます。
4. 留学中は、キャンパス内で約4ヶ月間寮生活を送り、この寮生活を通して学生間の友情を深めます。また、社会人として必要な人との接し方や協調性・社会性などを学びます。
5. 寮では、学生約10名につき1名ずつアメリカ人女子大学生がレジデント・アシスタント（RA）として寝食を共にし、彼女たちとの生活を通して英会話やアメリカ的な考え方・行動を学ぶことができます。
6. 食堂のスタッフは、日本や日本人をよく知っており食生活に困ることはありません。
7. スポケーン市民との交流も盛んで、ホームステイの他、現地の学校訪問や、コミュニティが主催する行事に参加するなど、アメリカでの生活を満喫することができます。
8. 留学中に実施される1泊～2泊のホームステイでは、生きたアメリカの日常生活を体験することができます。
9. 現地スタッフが24時間体制での安全対策を実施しています。
10. 日常生活を快適に安心して行えるよう、アドバイザーが常駐し、生活面の相談・指導を行っています。

1人あたりの留学費用内訳

【下記留学費用は2023年度実績額で、留学年度の費用は、為替、金利、物価等の経済情勢により変更します。】
アメリカ分校留学には、学費の他に次の費用が必要となります。

参加費

(1) 現地活動費	US\$ 1,382	(フィールドワーク費用等現地課外活動諸費)
(2) 生活費	US\$ 4,770	(食費・寮費・現地生活諸費)
合計	US\$ 6,152	

※現地での授業料は、本校（西宮）で支払う授業料の1学期分をそのまま充当します。

※上記費用とは別に、渡航費（往復交通費、旅行保険等）および現地旅行費等が必要となります。

※渡航費および現地旅行費は、旅行会社への実費額となり、本学が代理徴収することとなります。

※参加費については、渡航前の基準日の為替レートをを用いて円換算し、千円単位で決定します。

留学費用の総額については、別途、振込依頼書とともに通知します。

※上記費用は、本学のアメリカ分校の施設を利用して留学プログラムを実施するため、他大学と比較しても価格を低く設定しています。

(参考) 米国の現地近隣大学では、「食費・寮費」のみでUS\$ 6,700程度必要となり、日本で同様の留学を実施している大学では、「生活費」のみでUS\$ 7,700程度必要となっています。

英語グローバル学科のアメリカ分校留学制度「エクステンション・プログラム」

上記の「レギュラー・プログラム」に加えて、英語グローバル学科〔英語文化専攻〕は2年次後期に、〔グローバル・コミュニケーション専攻〕は2年次前期にそれぞれ約4カ月間のアメリカ分校留学「エクステンション・プログラム」(参加自由)を実施しています。これは、「レギュラー・プログラム」で養った学力を一層向上させ、特に使える英語力の強化を図ることを目指したもので、留学の一環として米国国内での研修旅行や学外での積極的な文化交流も企画しています。

○文学部英語グローバル学科アメリカ分校留学エクステンションプログラムに係る費用

【下記留学費用は2022年度実績額で、留学年度の費用は、為替、金利、物価等の経済情勢により変更します。】
アメリカ分校留学には、学費の他に次の費用が必要となります。

- | | |
|-----------|----------------------------------|
| (1) 現地活動費 | US\$ 1,324 (フィールドワーク費用等現地課外活動諸費) |
| (2) 生活費 | US\$ 4,770 (食費・寮費・現地生活諸費) |

合計	US\$ 6,094
----	------------

・その他留意事項

※現地での授業料は、2年次後期に本校(西宮)で支払う授業料の1学期分をそのまま充当します。

※上記費用とは別に、渡航費(往復交通費、旅行保険等)および現地旅行費等が必要となります。

※渡航費および現地旅行費は、旅行会社への実費額となり、本学が代理徴収することとなります。

※参加費については、渡航前の基準日の為替レートをを用いて円換算し、千円単位で決定します。

留学費用の総額については、別途、振込依頼書とともに通知します。

※レギュラー・プログラムに参加した後、エクステンション・プログラムの参加者には、学院から10万円相当が、全員に一律に補助されます。

上記参加費から、学院一律補助の10万円相当を控除した額を、円建てで納入することとなります。

※前述の、一律補助とは別に、学科が設定したTOEIC[®]のスコアを取得した学生に対して10万円または20万円の奨学金が支給されます。

※上記費用は、本学のアメリカ分校の施設を利用して留学プログラムを実施するため、他大学と比較しても価格を低く設定しています。

(参考)米国の現地近隣大学では、「食費・寮費」のみでUS\$ 6,700程度必要となり、日本で同様の留学を実施している大学では、「生活費」のみでUS\$ 7,700程度必要となっています。

12. アメリカ分校のための教育ローン制度

本学では、アメリカ分校留学を支援するための教育ローン制度があります。

13. 褒賞・奨学金制度 (参考：2023年度 褒賞・奨学金制度。2024年度 褒賞・奨学金制度については、7月頃本学受験生サイトで更新します)

1. 本学の褒賞・奨学金制度は以下のようなものがあります。主たる制度の一覧を掲載しております。いずれも立学の精神に基づいて人材の育成に役立てることを目的としています。

名称	内容
こうえ 公江 特待生	本学院の創設者の公江喜市郎先生の篤志を基金として設立されたものです。各学部学科から推薦を受けた学術優秀で、本学の学生として真にふさわしい者が対象となり、学力・人物の総合的判断により、選考委員会において決定されます。褒賞状および褒賞金が授与されます。選考の効力は1年間です。
おおかわら 大河原学院長賞	体育活動又は文化活動において一定基準以上の成績を取めた個人及び団体又は世界レベルの大会に出場した個人に対し、褒賞が与えられます。褒賞は1年度につき1回限りとします。

名称	目的	出願資格	支給額
新1年生対象 自宅外通学応援 奨学	自宅外からの通学者に対して給付し、その経済的負担を軽減することで、学業の達成を援助することを目的とする	<ul style="list-style-type: none"> 当該年度の入学試験で合格し、本学に入学した者 日本学生支援機構の第一種奨学生に入学年度の8月までに採用決定された者（ただし給付型奨学金受給者は除く） 日本学生支援機構が定める基準の遠隔地出身者で、入学年の4月から自宅外から通学している者 	年額20万円給付 (入学年度限り)
卒業学年対象 貸与奨学金返還 支援	社会人になる卒業学年の学生に対し、貸与金返済の軽減を図るための支援金を給付し、社会での活躍を支援することを目的とする	<ul style="list-style-type: none"> 当該年度に優秀な成績で卒業が見込まれる者 卒業学年において日本学生支援機構の第一種奨学金を受けている者 (ただし給付型奨学金受給者は除く) 	年額30万円を限度として給付する (ただし、在学中の日本学生支援機構の第一種奨学金貸与総額を超えない金額とする)
武庫川学院奨学	立学の精神を顕揚して人材の育成に資するため、本学生に対し授業料の一部を給付して学業の達成を援助すること	④と⑤の2種類があります。 ④本学(大学・短大)入学後、家計急変 ^{*1} により授業料の納入が困難になったと認められる者で、学業継続の意志のある者。 ⑤授業料の納入が困難な者で、学業継続の意志のある者。	④各自の納付する授業料の40%相当額(後期採用者は後期授業料の40%相当額)給付 ⑤年額20万円給付
武庫川学院創立 80周年記念特別奨学	武庫川学院創立80周年を記念し、卒業生(鳴松会)をはじめ、教職員、各種団体、一般の方々の温かい寄付により、修学意欲があるにもかかわらず、経済的理由により、学業の継続が困難な学生を支援する	入学後に武庫川学院奨学に採用された大学・短大生で、家計困難でありながら学業継続の意志のある者。	年額20万円給付
薬学部薬学科 貸与奨学金	学生の自立及び本学立学の精神を涵養することを目的として、経済的理由により修学困難な学生に対して援助を行う	薬学科4年生・5年生対象 <ul style="list-style-type: none"> 学業成績優秀で次年度への進級が見込まれる者 経済的に修学が困難と認められる者 	①当該年度授業料年額 ②120万③100万 ④80万⑤50万 貸与(無利子 返還の義務があります)
武庫川女子大学・ 武庫川女子大学 短期大学部 教育後援会奨学金	経済的理由により学業の達成が困難であると認められる者に対し、授業料の一部を貸与して学業の達成を援助すること	①卒業学年に在籍する学生で、当年度末に在学期間・修得単位数などの卒業要件を満たし、卒業が見込まれる者 ②家計困難により当期授業料の納入が困難となっている者 ①・②の条件が満たされる者	当年度授業料の1/2～1/5相当額貸与 (無利子 返還の義務があります)
武庫川学院 鳴松会奨学	鳴松会が本学卒業生として、本学に在籍する学生及び生徒に対し授業料の一部を給付して、学業の達成を援助すること	授業料の支弁が困難であり、学業優秀・品行方正であると認められる者 (家計急変事情を重視)	年額20万円給付 (ただし、給付額は年度により変更することがあります)

奨学制度の諸条件は変更になることがあります。詳細は各種奨学金の募集要項で確認してください。

※1 家計急変の内容は「主たる家計支持者の死亡・会社都合による解雇」等をさします。

2. 公的育英奨学事業として、「日本学生支援機構奨学金」があり、奨学金制度には「第一種奨学金（返還時無利子）」、「第二種奨学金（返還時有利子、年利率上限3%）」、「給付型奨学金（原則返還不要）」があります。

また日本政策金融公庫の教育ローンの融資が受けられなかった家庭の学生は、入学時のみ特別増額貸与（有利子、10万、20万、30万、40万、50万円から選択）を受けることができます。

多くの学生が日本学生支援機構の奨学金を利用しています。

前年度参考

日本学生支援機構奨学金の種類と月額（2022年度）

種類	学種	学年	月額	
			自宅	自宅外
第一種（無利子）	大学	2018年度以降 入学生	20,000円・30,000円・40,000円・ 54,000円から選択	20,000円・30,000円・40,000円・ 50,000円・64,000円から選択
		2017年度以前 入学生	30,000円・54,000円から選択	30,000円・64,000円から選択
第二種（有利子）	大学	全学年	20,000円・30,000円・40,000円・50,000円・60,000円・70,000円・ 80,000円・90,000円・100,000円・110,000円・120,000円・ 140,000円 ^{注1} から希望額を選択	
給付型 ^{注2}	大学	全学年	12,800円～42,500円	25,300円～75,800円

第一種奨学金は入学年度によって、適用される貸与月額が異なります。

給付型奨学金は世帯の所得金額によって適用される支給月額が異なります。

注1 薬学部のみ

注2 高等学校等を初めて卒業（修了）した日の属する年度の翌年度の末日から大学等へ入学した日までの期間が2年を経過していないこと。

3. 上記の他に各府県・市の主催する奨学金制度および公益法人の奨学金制度があり活用されています。

14. 学寮 (参考：2023年度 学寮。2024年度 学寮については、7月頃本学受験生サイトで更新します)

本学では、親元を離れて暮らす学生のために、6つの寮を設けています。いずれもキャンパスの近くにあり、異なった環境で育った学生が、規範性を学びながら有意義な共同生活を送っています。整備された設備・環境面のもと、さまざまな行事も用意されており、寮生は温かい家庭的雰囲気の中で安心した生活をしています。

学寮の概要

寮名	項目	建物の構造	収容定員(人)	一室の広さ(m ²)	一室の人数(人)	食事提供(朝食・夕食)の有無
淳正寮		鉄筋洋室 4F	99	22.0	3	あり
啓成寮		鉄筋洋室 4F	47	10.2	1	あり
貞和寮		鉄筋洋室 5F	101	8.0	1	あり
若草インターナショナルハウス(N棟)		鉄筋洋室 4F	39	10.0	1	なし
甲子園口ハウス【2人部屋利用】		鉄筋洋室 4F	32	16.0	2	なし
【1人部屋利用】	2		14.0-15.0	1		
笠屋インターナショナルハウス【3LDK 3人利用】		鉄筋洋室・和室 6F	30	個室：10.9 共用部：21.9	1	なし

- ・収容定員は変更になることがあります。
- ・一室の広さは、標準的な寮室の面積で、部屋により若干の増減があります。
- ・入寮選考(抽選)において、入寮希望者が多数の場合はご希望に沿えない場合があります。
- ・各寮の寮室備品および共同設備等については、学生部学生課ホームページ内(menu→「学寮」→「各寮の紹介」)にてご確認ください。



〈2022年度寮経費(参考)〉

(単位：円)

寮名	費目 入寮費	第1回(4月に納入)			第2回(10月に納入)			年間寮経費 合計 (入寮費含)
		寮費	食費	計	寮費	食費	計	
淳正寮	150,000	163,800	110,000	273,800	163,800	110,000	273,800	697,600
啓成寮	130,000	189,000		299,000	189,000		299,000	728,000
貞和寮	150,000	240,000		350,000	240,000		350,000	850,000

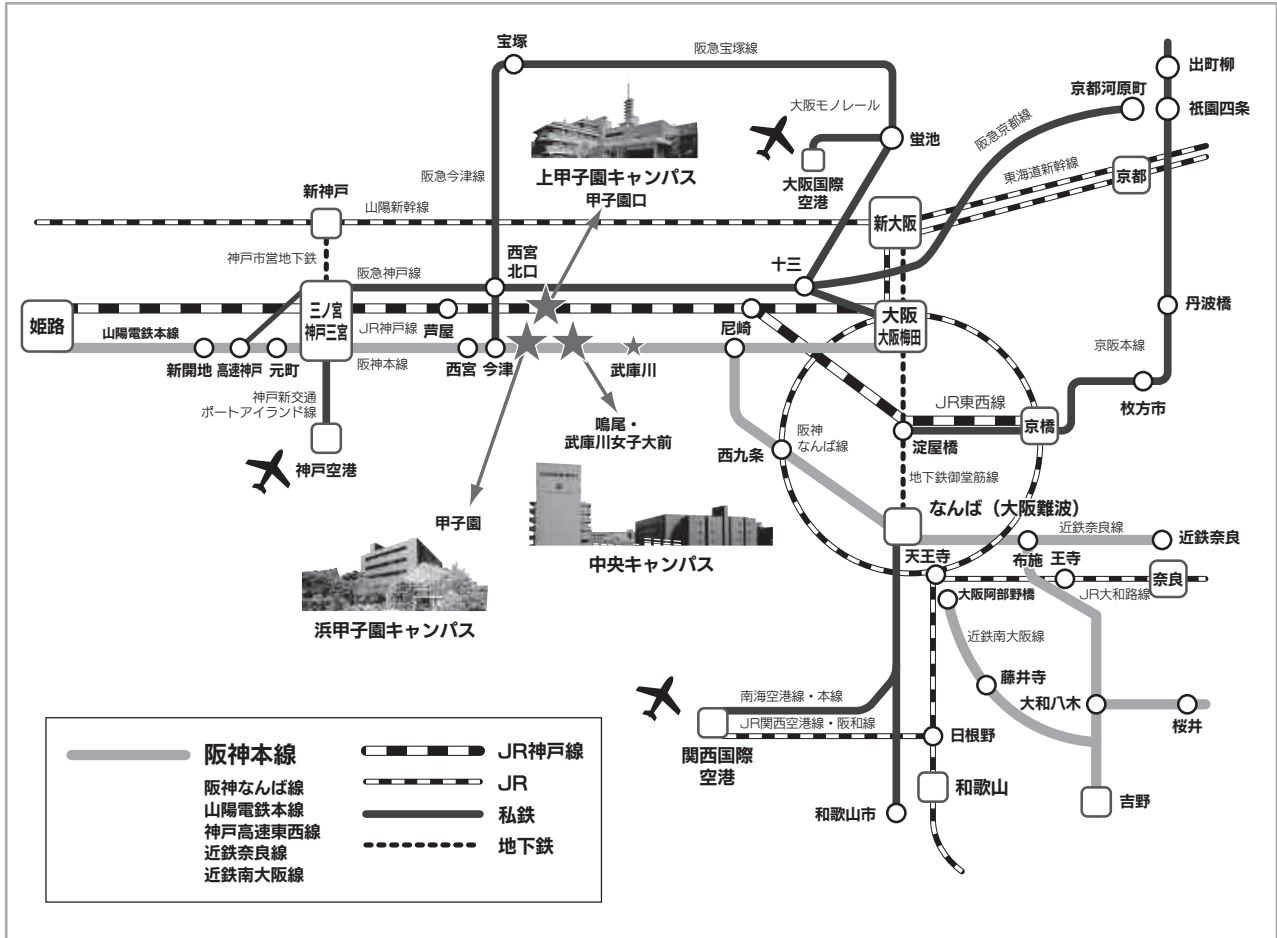
- ・寮費および食費は年2回、前期と後期に分けて徴収します。
- ・いったん納入された寮経費は入寮辞退、途中退寮されても返還できません。
- ・寮経費(入寮費・寮費・食費・防災備蓄品購入費)は諸般の事情により、改定されることがあります。
- ・寮食は1日2食(朝・夕)とし、それぞれ年間200食分をポイント換算し、注文時にポイントから差し引きます。(翌年度への繰り越しおよび返金はできません。)また、夏休み・冬休み・春休みの食事提供はありません。
- ・新入寮生については、防災備蓄品費用(1万円)を第1回寮費に併せて徴収します。
- ・啓成寮および貞和寮の在寮年限は、原則2年間とします。
- ・淳正寮、啓成寮、貞和寮は、年末年始の6日間と年度末の3日間休寮します。

(単位：円)

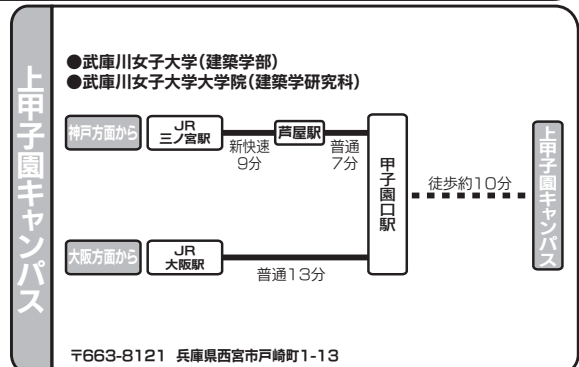
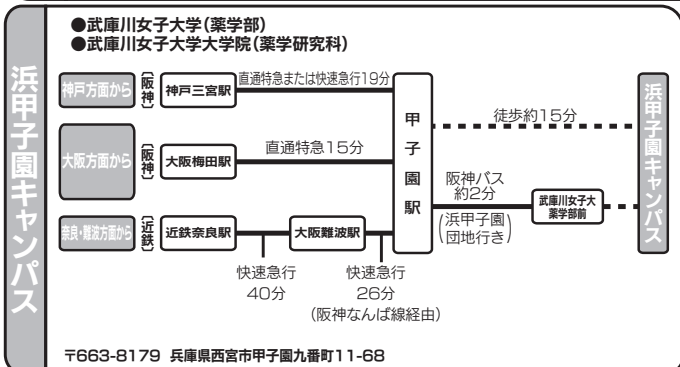
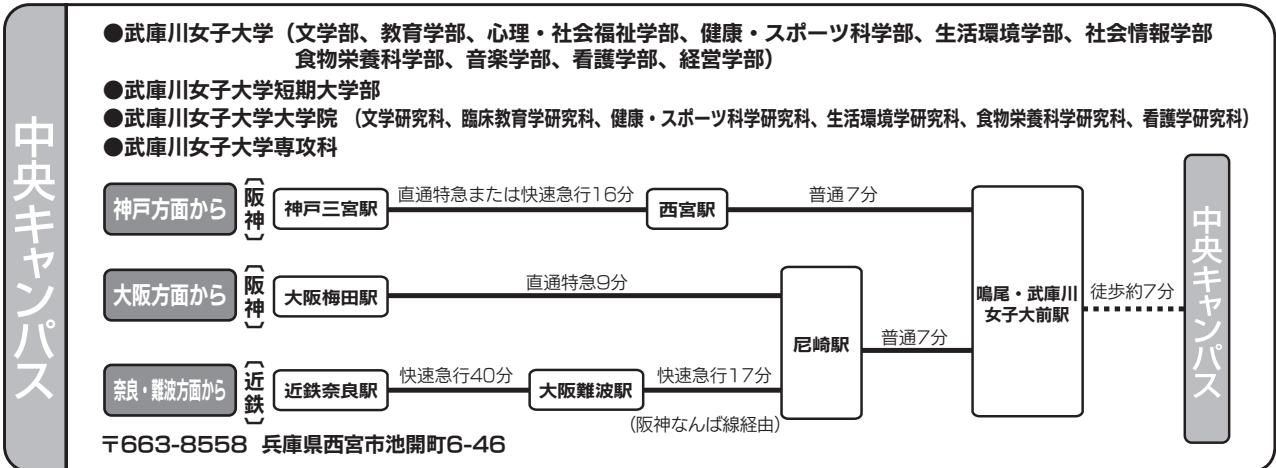
寮名	費目	入寮費	寮費：月額賃料
わかぐさ 若草インターナショナルハウス (N棟)		150,000	40,000
こうしえんぐち 甲子園口ハウス		150,000	【2人部屋利用】35,000 【1人部屋利用】60,000
かきや 笠屋インターナショナルハウス		家賃の1か月分	【3LDK 3人利用】39,000

- 上表の施設の寮費は、月額で徴収します。
- いったん納入された寮経費は入寮辞退、途中退寮されても返還できません。
- 入寮費・月額賃料は、諸般の事情により、改定されることがあります。
- 若草インターナショナルハウス (N棟) および甲子園口ハウス、笠屋インターナショナルハウスは食事提供がありません。

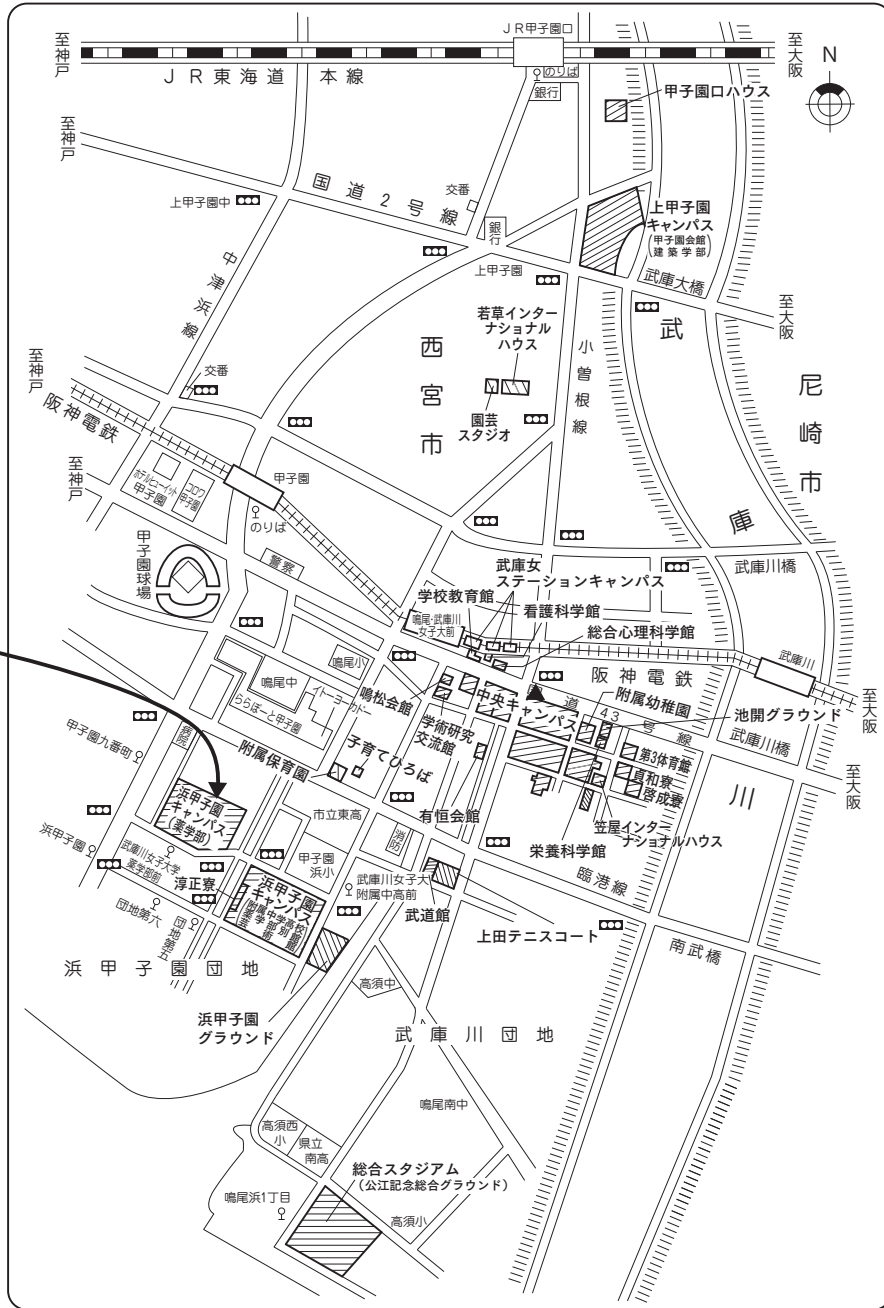
交通アクセス



※下記のアクセス方法・所要時間は一例です。曜日や時間帯によって異なりますので、十分注意してください。



◇ 試験場案内図



浜甲子園
キャンパス

薬学科
健康生命薬科
学科

最寄駅

阪神電車「甲子園駅」から徒歩約15分

中央キャンパス

英語グローバル学科
〔英語文化専攻〕
英語グローバル学科
〔グローバル・コミュニケーション専攻〕
教育学科
社会福祉学科
健康・スポーツ科学科
スポーツマネジメント学科
経営学科

最寄駅

阪神電車「鳴尾・武庫川女子大前駅」から徒歩約7分

武庫川女子大学のアドミッション・ポリシー

MUKOJO 未来教育総合型選抜実施学部・学科のアドミッション・ポリシーを掲載します。

<文学部>

武庫川女子大学文学部は、「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能・資質・意欲を備えた女性を求めます。

1. 高等学校までの教育課程を偏りなく修得し、十分な基礎学力を身につけている。
2. 人文諸科学の学修研究に積極的に取り組む姿勢と意欲を持っている。
3. 将来に向けての見通しと目的意識を確立している。
4. 豊かな感性と公平な視点を持ち、考え方の異なる他者とも協同して活動することができる。

また、開設する学科のそれぞれの専門性やディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を持つ人材像に対応する、透明性の高い公正な入学者の選抜試験を複数の機会および方法で行います。

●英語グローバル学科

本学科は「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識や技能、意欲を備えた女性を求めます。

国際社会で通用する知識や英語力を身につけ、社会で活躍しようとする者を受け入れます。

- ①入学までに、国語、英語、地理歴史、公民のほか、数学や理科といった教科を含む幅広い基礎知識を備えている人
- ②入学後は欧米の文化や言語、ビジネスコミュニケーション、グローバル・スタディーズに関する基礎的および専門的な知識を修得する意欲を持った人
- ③本学科の学修を通して得た専門的知識と論理的思考力等を生かし、自ら課題を発見・解決する能力を身につけ、社会に貢献する意欲を持った人
- ④入学後にアメリカ分校（MUSC）へ4ヶ月間留学し、英語運用能力や異文化を理解する力を身につける意欲を持った人
- ⑤国際社会で通用する幅広い知識と確かな英語力を身につけ、公的機関や民間企業で活躍する意欲を持った人
- ⑥中学校・高等学校の英語科教諭、学校図書館司書教諭、図書館司書の職に就き、それぞれの分野で活躍し、社会の発展に寄与する意欲を持った人

<教育学部>

●教育学科

本学部・学科は、「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識や技能、意欲を備えた女性を求めます。

本学部・学科が育成しようとする資質・能力の基礎となる学力や思考力・判断力を有し、教育や保育について明確な目的意識を持って積極的に勉学に励もうとする意欲ある女性を受け入れます。また、本学部・学科では、小学校教諭一種・幼稚園教諭一種・中学校教諭一種（国語）（英語）・特別支援学校教諭一種免許状および保育士資格が取得できますので、特に教員や保育者として活躍するための資質・能力を高めようとする熱意や責任感を有する者を受け入れます。高い資質・能力を持つ教員または保育者となるためには、文系・理系という枠組みに捉われず、国語、英語、日本史、世界史、数学、化学、生物などの科目を幅広く履修し、確かな基礎学力を備えておくことを求めます。

<心理・社会福祉学部>

武庫川女子大学心理・社会福祉学部は、「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能・資質・意欲を備えた女性を求めます。

1. 高等学校までの教育課程を偏りなく修得し、十分な基礎学力を身につけている。
2. 人間中心社会の理念を理解し、持続可能な社会の実現に向けて積極的に取り組む姿勢と意欲を持っている。
3. 他者と共に生きる社会における共同的な価値の創造を希求することができる。
4. 社会の多様性、異質性に謙虚に向き合い、社会的な課題に立ち向かう意欲を持っている。

また、開設する学科のそれぞれの専門性やディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を持つ人材像に対応する、透

明性の高い公正な入学者の選抜試験を複数の機会および方法で行います。

●社会福祉学科

本学科は、「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能・意欲を備えた女性を求めます。

人を支援することに高いモチベーションを有し、社会福祉士、精神保健福祉士などの専門職になることやその知識を活かしたソーシャルビジネスの起業にも関心を持ち、これらに必要な資質や能力を高めることによって、多様性を活かした豊かな社会の実現に貢献しようとする者を受け入れます。

多様性に富む豊かな社会の実現に貢献するためには、あらゆる場面で知識を活用し思考する力を問われます。したがって、文系・理系という狭い枠にとらわれず、国語、英語、地理歴史、公民のほか、数学、物理、化学、生物といった科目をできる限り幅広く履修し、確かな基礎知識を備えておくことを求めます。

またグローバルな社会における経済活動にも関心を持ち、社会福祉・精神保健福祉分野においてもその手法を活かすアイデアを模索しようとする女性に期待をします。

<健康・スポーツ科学部>

本学部は健康・スポーツ科学科・スポーツマネジメント学科の2学科より構成し、「Sports for All の時代をリードできる人」を養成するという共通した教育目的を持ち、次のような資質を有する入学者を受け入れます。

「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ各学科の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な知識や技能、意欲を備えた女性を求めます。

●健康・スポーツ科学科

本学科は、「Sports for All の時代をリードできる人」を養成するという教育目的を持っています。したがって、健康・スポーツを科学的・専門的に学ぼうとする強い意欲を持ち、次のような現場において活躍・貢献しようとする学生の入学を求めます。

- ①教育および生涯学習における運動指導現場において、健康・スポーツ教育の充実に貢献しようとする者
- ②競技スポーツにおけるジュニア期以降のスポーツ指導・サポート現場において、優れたコーチングとトレーニング指導によって競技力向上に貢献しようとする者
- ③地方自治体や企業・民間のスポーツ施設における施設・プログラム管理現場、医療・福祉施設・幼児施設等における運動・フィットネス指導現場において、スポーツ・運動・身体活動を通じた健康支援に貢献しようとする者
- ④スポーツ関連の企業や団体、スポーツイベントの企画・運営などのスポーツビジネス分野で活躍しようとする者

<入学時まで身に付けてほしい学力・能力>

本学科は、競技力の向上や健康で豊かな社会の構築に関わる幅広い指導者養成のため、健康・スポーツを科学的・専門的に探求する多様な学修を展開しています。そこで主体的な勉学の習慣に加えて、大学入学時まで、次のような学力や能力、スポーツの実践力を研ぎ、入学後の学修に臨むことを求めます。

- 1) 知識・技能および思考力・判断力・表現力
 - ①国語や英語などで学ぶ読解力・構成力・論理的表現力と、そこから得られるコミュニケーション力
 - ②地理歴史や公民などで学ぶ基礎的な知識と、そこから得られる社会を読み解く力
 - ③数学や理科などで学ぶ基礎的な知識と、そこから得られる論理的・科学的な思考力
- 2) 主体性を持って多様な人々と協働する力
 - ①集団活動における主体性、コミュニケーション力、リーダーシップ、高い倫理観
- 3) 体育やスポーツ分野における実践力
 - ①各種スポーツの技術・技能、スポーツの実践力とそれに係る体力、スポーツ実践の経験知

●スポーツマネジメント学科

本学科は、「Sports for All の時代をリードできる人」を養成するという教育目的を持っています。したがって、健康・スポーツを科学的・専門的に学ぼうとする強い意欲を持ち、次のような現場において活躍・貢献しようとする学生の入学を求めます。

- ①スポーツ関連の企業や団体、スポーツイベントの企画・運営などのスポーツマネジメント分野で活躍しようとする者
- ②地方自治体や企業・民間のスポーツ施設における施設・プログラム管理現場、医療・福祉施設・幼児施設等における運動・フィットネス指導現場において、スポーツ・運動・身体活動を通じた健康支援に貢献しようとする者

- ③教育および生涯学習における運動指導現場において、健康・スポーツ教育の充実に貢献しようとする者
④競技スポーツにおけるジュニア期以降のスポーツ指導・サポート現場において、優れたコーチングとトレーニング指導によって競技力向上に貢献しようとする者

<入学時まで身に付けてほしい学力・能力>

本学科は、健康で豊かな社会の構築に関わる幅広い経営管理者・指導者養成のため、スポーツマネジメントを科学的・専門的に探求する多様な学修を展開しています。そこで主体的な勉学の習慣に加えて、大学入学時まで、次のような学力や能力、スポーツの実践力を研ぎ、入学後の学修に臨むことを求めます。

- 1) 知識・技能および思考力・判断力・表現力
 - ①国語や英語などで学ぶ読解力・構成力・論理的表現力と、そこから得られるコミュニケーション力
 - ②地理歴史や公民などで学ぶ基礎的な知識と、そこから得られる社会を読み解く力
 - ③数学や理科などで学ぶ基礎的な知識と、そこから得られる論理的・科学的な思考力
- 2) 主体性を持って多様な人々と協働する力
 - ①集団活動における主体性、コミュニケーション力、リーダーシップ、高い倫理観
- 3) 体育やスポーツ分野における実践力
 - ①各種スポーツの技術・技能、スポーツの実践力とそれに係る体力、スポーツ実践の経験知

<薬学部>

本学部は、「立学の精神」とそれに基づく教育目標に賛同し、かつ修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）およびその教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識や技能、意欲を備えた女性を求めます。

- 1) 自主的・積極的に勉学する態度や習慣や考える力を身につけ、生涯にわたり勉学を続ける意欲がある。
- 2) 人を思いやり、人のために尽くす精神を有し、常に自己を磨くことに努力を惜しまない。
- 3) 自然科学への強い関心と探求する心を持ち、科学的事実に基づいて自らの考察と行動をすることに努力する。
- 4) 薬剤師業務、新薬の創製・開発、医薬品の管理・情報提供、衛生薬学そして薬事行政などの職業に魅力を感じ、これらの職業を通して人のために貢献しようとする情熱がある。
- 5) 高等学校までに学ぶべき事項を幅広く修得し、入学後の学修に必要な基礎科学力と英語力を身につけている。

●薬学科

本学科は、「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識や技能、意欲を備えた女性を求めます。

- 1) 医薬品や病態・薬物治療の基本となる基礎学力（化学・生物・数学・英語・国語）を有し、将来薬剤師有資格者として、医療の発展に貢献したい、あるいは、健康・福祉その他の分野で社会貢献したいという強い意欲がある。
- 2) 医療や健康・福祉などに携わる者としての使命感と倫理観を有し、思いやりと協調性、コミュニケーション能力を身につけようとする姿勢がある。
- 3) 科学的な思考力と問題提起・解決能力を身につけることの重要性を理解できる。
- 4) 自ら学ぼうとする強い意欲、地道に努力する勤勉さがある。

●健康生命薬科学科

本学科は、「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識や技能、意欲を備えた女性を求めます。

- 1) 十分な基礎学力を有するとともに、自然科学に興味を持っており、自ら学ぼうとする強い意欲、地道に努力する勤勉さがある。入学前には、学修の基礎となる化学、生物、国語、外国語、数学の基礎的な知識を幅広く身につけていることが求められます。
- 2) 科学的な思考力・問題解決能力や真実に基づく考察の重要性を理解できる。
- 3) 薬学研究に取組み、研究成果を通して、人類の健康と福祉に貢献したいという強い意志がある。もしくは、中学・高等学校の理科教員として、後継者育成活動に寄与したいという強い意志がある。

<経営学部>

●経営学科

本学部・学科では、「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロ

マ・ポリシー) および教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、能力、態度、興味・意欲を備えた女性を求めます。

1. 知識と技能

入学までに履修する教科・科目を幅広く修得し、大学で学ぶための基礎学力を有する者、もしくは同等の知識と技能を有する者

2. 思考・判断力と表現力

人や社会、自身が目指す将来キャリアについて、これまで習得した知識や情報をもとにして、筋道を立てて自分の考えをまとめ、それを文章や口頭で表現できる者

3. 主体性と協働的態度

社会的な活動に主体的に、かつ他者とコミュニケーションをとりながら協働して取り組むことのできる者

4. 興味と意欲

経営学を中心とする本学科での学びに興味を持ち、その学びを自らの将来キャリアをデザインするための知識・技能として活用しようとする意欲を有する者

◎ 入試については武庫川女子大学入試センターにお問い合わせください。

受験生専用直通ダイヤル	(0798) 45-3500
メールアドレス	nyuss@mukogawa-u.ac.jp
インターネットホームページ	https://www.mukogawa-u.ac.jp/

武庫川女子大学

中央キャンパス 〒663-8558 兵庫県西宮市池開町6-46

浜甲子園キャンパス(薬学部) 〒663-8179 兵庫県西宮市甲子園九番町11-68